

KENWOOD

MDV-D504BTW MDV-D504BT MDV-D404BTW MDV-D404BT

AV Navigation System

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド



My-Kenwoodのご案内

お買い上げいただきました製品を「登録」していただくと、ご使用いただいている製品のサポート情報のほかに、関連製品情報やイベント情報などをご案内いたします。
下記ウェブサイトで会員規約をご確認になり、My-Kenwood をご利用ください。
<https://jp.my-kenwood.com>



目次

安全上のご注意.....	3	音楽 CD を SD カードに録音する.....	36
使用上のご注意.....	6	画質を調整する.....	38
取扱説明書について.....	8	<i>Bluetooth</i> 機器を使う	
電源を入れる / 切る.....	8	<i>Bluetooth</i> 機器の登録と設定.....	38
ディスク、SD カードの出し入れ、パネルの角度調整を する		ハンズフリーを使う.....	41
パネルの操作.....	8	本機対応の別売品について	
パネルにあるボタンの機能		別売品について.....	43
各部の名称とはたらき.....	9	ドライブレコーダー、ETC 車載器または ETC2.0(DSRC) を接続したときの設定について	
画面の出しかた.....	10	ドライブレコーダーを使う.....	44
すべての機能はこの画面から始まります		ETC 車載器を使う.....	44
HOME 画面の構成.....	11	ETC2.0(DSRC) 車載器を使う.....	45
画面 / リストの操作.....	12	リアビューカメラを接続したときは設定が必要です リアビューカメラを使う.....	46
よく使う地点や機能のショートカット集をつくる		付録	
マイメニュー.....	12	地図記号の凡例.....	47
アンテナ伸縮、明るさ調整、画面消灯、ユーザーの 切り替えをする		メディアおよびファイルについて.....	48
サブメニュー.....	13	自車位置の測位精度について.....	50
ナビを使っているときに表示される情報		ソフトウェア使用許諾契約書.....	52
地図の見かたと操作.....	14	VICS について.....	54
目的地まで道案内をさせる		地図のデータベースについて.....	56
ナビゲーション.....	17	iPod について.....	56
地点を登録する		Bluetooth について.....	56
自宅または地点を登録する.....	20	故障かなと思ったら.....	57
地点情報を編集する.....	21	商標.....	61
ナビを使いやすいように設定する		主な仕様.....	65
情報・設定.....	23	保証とアフターサービス.....	67
地図更新について.....	26		
設定データ保存.....	26		
接続状態の確認			
接続状態を確認する.....	27		
音楽やビデオを楽しむ			
AV 操作.....	28		




安全上のご注意

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

	注意（しなければならない）の内容です。
	禁止（してはいけない）の内容です。
	実行（かならず行っていただく）の内容です。

取り付けや配線について

警告



本機は DC12V ⊖ アース車以外で使用しない

火災や故障の原因になります。DC24V 車(大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など)で使用しないでください。

エアバックの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしてない

エアバックが誤動作し、死亡事故の原因になります。エアバック装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。

取り付けやアース配線に車の保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットを絶対に使用しない

制御不能や発火、交通事故の原因となります。

視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない

交通事故やケガの原因となります。

フィルムアンテナは保安基準の取付許容範囲外に貼り付けない

視界不良やアンテナがはかれて、事故の原因となります。



取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する

取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要で、誤った取り付けや配線をするると車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

説明書に従って取り付け・配線をする

火災や故障の原因となります。作業は手順とおりに正しく行ってください。

作業前に必ずバッテリーの ⊖ 端子を外す

外さずに作業をするとショートによる感電やけがの原因となります。

作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付けの場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。

必ず付属の部品や指定の部品を使用する

機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

**コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する**

ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する

被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

パーキング検出（サイドブレーキ）コードは正しく配線する

正しく配線しないと安全機能が動かず、交通事故の原因となります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる

車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。

ねじなどの小物部品は乳幼児の手の届かないところに置く

あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

注意**自動車のコンソールに取り付ける**

本機の使用時または使用直後は、本機の背面や側面などの金属部分が高温になっています。直接触れるとやけどの原因となることがあります。取り外すときなどご注意ください。

**直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けない**

機器の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない

水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

機器の通風口や放熱板をふさがない

機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

**コードの扱いに注意する**

コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

使用方法について**警告****分解・修理および改造はしない**

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。

**音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない**

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

機器内部に、水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようご注意ください。

故障や異常な状態のままで使用しない

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。

運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない

必ず安全な場所に車を停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。

**雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない**

落雷による感電の原因となります。

**ルート案内中でも実際の交通規制に従って走行する**

ナビゲーションのルート案内のみに従って走行すると実際の交通規制と反することがあり、交通事故の原因となります。

ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口にご相談ください。

⚠ 注意**本機を車載用以外で使用しない**

発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。

**可動部やディスク挿入口に手や指を入れない**

モニター開閉や角度調整の時にはご注意ください。けがの原因となることがあります。

異常時の問い合わせ**⚠ 警告****異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口にご相談する**

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

本機のサポート情報を役立てよう！**本機の最新情報はこちら**

ファームウェアのバージョンアップ情報や地図更新など本機の最新情報を掲載しています。

<http://www.kenwood.com/jp/cs/car/navi/>

**FAQ（よくあるご質問）**

当社のホームページでは、本機についてのお問い合わせの内容を掲載しています。

本書の「故障かなと思ったら」と合わせてこちらでもご覧ください。

<http://www.kenwood.com/jp/cs/car/faq/>



使用上のご注意

安全走行のために

本製品は、目的地までの道のりを、曲がり角ごとに案内をして誘導します。ご使用になる前に必ず、本書や注意事項などをよく読み、正しく理解して使用してください。

安全上の配慮から、走行中はテレビやビデオなどの映像を見ることはできません。安全な場所に駐車してパーキングブレーキを引いてからお楽しみください。なお、走行中であっても音声だけは出力されます。また、同様の理由で一部の機能で操作できないものがあります。

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「故障かなと思ったら」(→ P.57)を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターへご相談ください。

本機のお手入れについて

操作パネルや本体部が汚れたときは、市販のシリコンクロスなどの柔らかい布で乾拭きしてください。

汚れがひどいときは、中性洗剤を付けた布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で洗剤を拭き取ってください。硬い布やアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

傷が付いたり文字が消えることがあります。

フィルムアンテナのお手入れ

● フロントウィンドウの内側を清掃の際には、フィルムアンテナをやわらかい布で優しく拭き取るようにしてください。汚れのひどいときは、水に薄めた中性洗剤に浸した布を堅くしぼり、軽く拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。

● 一度貼り付けたフィルムアンテナは、はがさないようにしてください。機能が損なわれます。

オートアンテナ(電動アンテナ装備車)の操作について

車両側のアンテナコントロール端子と本機のアンテナコントロール(ANT CONT)端子を接続しているときは、本機の電源をオンにするとオートアンテナが伸びます。天井の低い駐車場に入る場合などオートアンテナを下げたいときは、オートアンテナをしまってください。

モニター画面について

- 画面部をボールペンなどの先のとがった物で操作しないでください。画面が損傷する場合があります。
- 画面部に強い衝撃を加えないでください。故障の原因になります。
- 画面部に保護用フィルムなどを貼らないでください。タッチ操作時に誤動作する場合があります。

- 画面に直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で長時間使用すると高温になり、画面が故障する原因となります。
- 極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これは液晶画面の特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。
- 画面に小さな点が出る場合があります。これは液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面の特性により、液晶を見る角度によっては表示が見づらいことがあります。故障ではありません。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露(水滴)が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。

このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間経っても正常に作動しない場合は、販売店へ連絡してください。

ナビゲーションについて

- 初めてご使用になるとき、または長期間ご使用にならなかったときは、現在地が正しく位置表示されない場合があります。しばらくするとGPSの測位により正しく表示されるようになります。
- 走行中、安全のため、一部を除く細街路*は表示されません。ただし、以下の場合は走行中も細街路が表示されます。

- 細街路を走行中の現在地図画面
- 市街地図を表示しているとき
- マップマッチングしていないとき
- 駐停車中

*: 細街路とは、道幅 5.5m 未満の道路のことをいいます。

フロントパネルの安全装置について

フロントパネルを閉じるときにパネルに触れると、再度フロントパネルが開きます。

パネルの隙間にコードなどの異物を挟んで閉じたときは、安全装置が働き、フロントパネルの動作が停止します。この場合は異物を取り除いてから、再度操作してください。

本機にメモリーされた個人情報について

本機を譲渡したり、売却したりする場合などには、本機に記録された情報(例:登録地点や検索履歴等)を、必ずお客様自身によってデータを消去し、確認してください。

消去は、「システムの初期化」(→ P.25)で行うことができます。

なお、次のデータや設定は「システムを初期化する」では消去できません。個別に消去/解除してください。

- 暗証番号の解除
- SD カードに録音したデータ

当社では未消去のデータの流出による損害等について、一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。

本機での個人情報を含む検索データの取り扱いについて

当社は、同データに収録された個人情報をその機能の実現のみに使用し、第三者へは開示しません。該当する個人情報の開示、訂正、削除などをご希望のお客様は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター（裏表紙）までご連絡ください。ご本人の確認および所定の手続きを経た後、対応が可能となる次回製品より、該当する情報の削除などを行います。

電波について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています（受けた部品を使用しています）。

したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。また、本機は、電気通信事業法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。

- 分解 / 改造すること
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

- 本機は 2.4GHz 帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本機の使用周波数帯（2.4GHz）では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

- 製品に表示している周波数表示の意味は下記の通りです。

2.4 FH 1

2.4：2.4GHz 帯を使用する無線機器です。

FH：FH-SS 変調方式を表します。

1：電波干渉距離は 10m です。

□ □ □：全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域回避可能です。

- 使用可能距離は見通し距離約 10 m です。鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。
- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
 - 2.4GHz の周波数帯域を利用する無線 LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
 - ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CS チューナー、VICS などのアンテナ入力端子を持つ AV 機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。
- 本機は電波を使用しているため、第 3 者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

取扱説明書について

本書の取り扱い情報は以下になります。

取扱説明書（本書）

取付説明書（同梱）

取扱説明書<詳細版>（PDF版）

本書では基本的な操作について説明しています。

詳細な操作方法については取扱説明書<詳細版>（PDF版）を以下のホームページよりダウンロードしてご覧ください。

<http://manual.kenwood.com/edition/2017ld/mdv.html>



電源を入れる / 切る

電源オン

車両のイグニッションキーを「ACC」または「ON」にすると、本機の電源がオンになります。

電源オフ

車両のイグニッションキーを「OFF」にすると、本機の電源がオフになります。



- 取り付け後に初めて電源をオンにしたときや、バッテリーを交換した場合には、測位に時間がかかるため、現在地付近の地図の表示に多少時間がかかります。
- 使用状況や電源電圧の変動などによって、本機の取り付け後に初めて電源をオンにしたときと同じ状態になる場合があります。
- ルート案内の途中で電源をオフにしてもルートは消えません。次に電源をオンにしたときには、現在地からの続きを案内します。
- SDカードへの録音中は電源をオフしないでください。録音を停止してから電源をオフにしてください。

パネルの操作

フロントパネルの角度調整やディスク、SDカードの出し入れをします。

1 電源を入れてフロントパネルの【▲】（オープンキー）を押す

2 設定する項目にタッチする



①フロントパネルの角度調整

光の反射などで画面が見づらい場合など、ドライビングポジションから見やすいようにフロントパネルの角度を調整します。

②視野角の調整

フロントパネルの角度を調整しても画面が見えにくい場合は、視野角にタッチして調整します。

③ディスクの出し入れ

ディスクを入れる

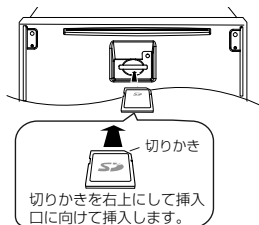
【▲ DISC】にタッチするとフロントパネルが開きます。ディスクを挿入するとパネルは自動で閉じます。

ディスクを取り出す

【▲ DISC】にタッチするとフロントパネルが開いてディスクが排出されます。ディスクを取り出したら【▲】（オープンキー）を押して、パネルを閉じてください。

④SDカードの出し入れ

【フルオープン】タッチするとフロントパネルが開きます。SDカードを突き当たるまで奥に差し込んで入れてください。

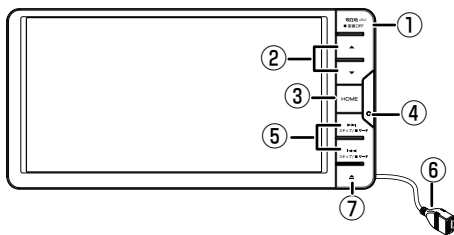


挿入したらフロントパネルの【▲】（オープンキー）押してパネルを閉じます。

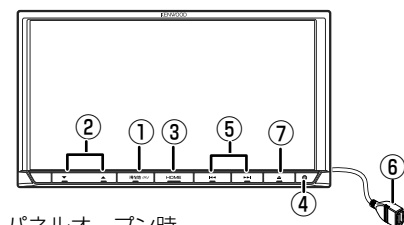
SDカードを出すときは、フロントパネルの【▲】（オープンキー）押して、【フルオープン】にタッチしてパネルを開いて、SDカードをいったん押し込んでから、つまんで引き出します。

各部の名称とはたらき

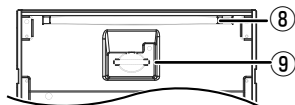
MDV-D504BTW/MDV-D404BTW



MDV-D504BT/MDV-D404BT



パネルオープン時



①【現在地 / AV】

- 現在地図画面を表示します。
- 現在地図画面表示中に押すと選択しているソースの AV 画面を表示します。
- 押し続けると、画面の表示をオフにします。

② 音量キー

- AV の音量を調整 (0 ~ 40) します。
 - ハンズフリー電話中は、着信音量と受話音量を調整 (0 ~ 40) します。
- ナビゲーションの音声案内中は、案内音量を調整 (1 ~ 40) します。



- 【▲】を押し続けると、連続して音量値が 15 まで上がります。
- ハンズフリー電話の音量は、外部機器設定でも調整できます。
- 案内音量は、ナビ設定でも調整できません。
- 音量キーでハンズフリー電話の音量および案内音量の調整をできないように設定することもできます。(→ P.40)

③【HOME】

ホーム画面を表示します。
押し続けると、スマートフォン (Bluetooth 接続中) の音声認識機能が起動します。

④ セキュリティインジケータ

セキュリティインジケータを ON に設定している場合、電源オフ時に点滅します。

⑤ スキップ / サーチキー

- FM/AM/ 地デジ / ワンセグ :
放送局を切り替えます。
FM/AM 受信中に押し続けると、受信状態の良い放送局を探して自動で受信します。
- 音楽 / ビデオ再生 :
前 / 次の曲、ビデオまたはファイルを再生します。
押し続けると、早送り / 早戻しします。

⑥ USB 端子

USB 機器または iPod/iPhone を接続します。

⑦【▲】(オープンキー)

フロントパネルの角度調整やディスク、SD カードの出し入れを行うためのメニューを表示します。

⑧ ディスク挿入口

ディスクを挿入します。

⑨ SD カード挿入口

SD カードを挿入します。

画面の出しかた

ホーム画面での操作

ホーム画面は、本機を使うためのスタート地点です。ここからさまざまな機能にアクセスします。ホーム画面はフロントパネルにある【HOME】を押すと、いつでも表示できます。

ソース切替画面

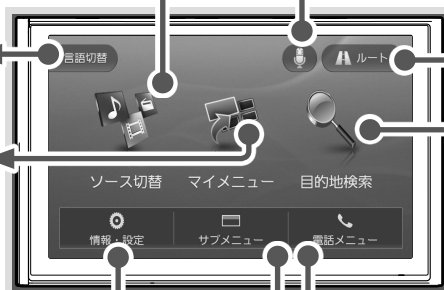
AV ソースを切り替える画面を表示します。



カーナビ連携スマートフォンアプリケーション「VOIPUT」を使用するときにタッチします。

ホーム画面

言語を切り替えます。



ルート編集画面を表示します。

マイメニューを表示します。

情報・設定画面

ECO、VICS の情報や、ナビ、システム、サウンドなどを設定します。



目的地検索画面

施設の名称やジャンル、住所など、いろいろな検索方法で行き先を検索できます。



サブメニュー

画面の明るさ調整や、画面をオフ、ユーザーを切り替えるボタンなどが表示されます。



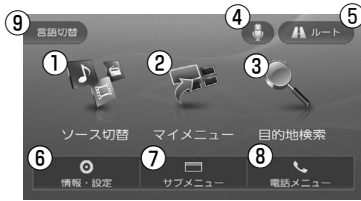
電話メニュー画面

電話 (Bluetooth ハンズフリー) メニュー画面を表示します。



HOME 画面の構成

HOME 画面は フロントパネルの【HOME】を押すと、いつでも表示できます。



- ① ソース切替**
ソース切替画面が表示されます。(→ P.28)
ソース(音源)の切り替えができます。
- ② マイメニュー**
マイメニュー画面が表示されます。(→ P.12)
よく使う設定や機能、AV ソースなどを登録して呼び出すことができます。
- ③ 目的地検索**
目的地検索画面が表示されます。(→ P.17)
行き先や立ち寄る場所など、目的地をいろいろな方法で検索できます。
- ④ VOIPUT**
カーナビ連携スマートフォンアプリケーション「VOIPUT」で使います。
- ⑤ ルート**
ルート画面が表示されます。(→ P.20)
探索したルートを再探索したり、経由地を変更するなど、ルートの編集ができます。
- ⑥ 情報・設定**
情報・設定画面が表示されます。(→ P.23)
VICS 情報、接続情報などの表示や、ナビゲーション、サウンドなどに関する設定のカスタマイズができます。
- ⑦ サブメニュー**
サブメニューを表示します。
- ⑧ 電話メニュー**
Bluetooth ハンズフリーで使用する電話メニューを表示します。
- ⑨ 言語切替**
表示言語と音声案内の言語を切り替えます。

言語を切り替える

メニューと地図の表示言語と、音声案内の発話言語を切り替えます。

- 1 【HOME】を押して[言語切替]にタッチする**



- 2 変更したい言語にタッチする**



ナビデータを消去する

検索履歴、ルート情報(目的地/経由地/ルート)、走行軌跡を消去します。

- 1 【HOME】を押して[言語切替]にタッチする**



- 2 [ナビデータ消去]にタッチする**



メッセージが表示されます

- 3 [はい]にタッチする**

画面 / リストの操作

■ 前の画面に戻る

[戻る] にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。



■ リストの操作

リストは上下にスクロールして見たい項目を表示させます。

リストのスクロールには、次の2つの方法があります。

- スクロールしたい方向にリストをドラッグまたはフリックする。

ドラッグまたはフリックした方向にリストがスクロールします。フリックしたときは、スクロール中のリストにタッチすると、スクロールを止めることができます。



- リストをページ送りする。

送りたい方向の [△] [▽] にタッチします。



[△] [▽] にタッチするとリストの最初 / 最後を表示します。

マイメニュー

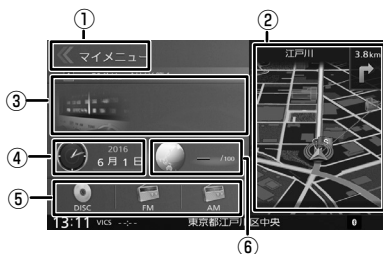
よく使う機能やメニューを登録して呼び出すことができます。また、特別メモリ地点として登録した地点を呼び出します。

- フロントパネルの [HOME] を押して [マイメニュー] にタッチする



マイメニューは2画面あります。

- [<<マイメニュー] と⑩ [マイメニュー >>] で切り替えます。



- マイメニュー画面を切り替えます。
- 現在地図を表示します。ルート案内中は次の案内ポイントまでの距離と交差点名称も表示されます。
- 選択しているソースのAV画面を表示します。
- 日付と時刻を表示します。タッチすると1ヶ月分のカレンダーを表示します。
- よく使うAVソースを3つまで割り当てることができます。
- ECO情報を表示します。ルート案内中はタッチするたびにECO情報と目的地までの距離 / 到着予想時間に切り替わります。

- ⑦ ⑤、⑨、⑩を編集する画面を表示します。
- ⑧ 車両メンテナンスの設定画面を表示します。
- ⑨ 機能ショートカットボタン
- ⑩ 特別メモリ地点ボタン
- ⑪ マイメニュー画面を切り替えます。

サブメニュー

画面の明るさ、画面表示のオフやユーザー切り替え操作などができます。

1 フロントパネルの [HOME] を押して [サブメニュー] にタッチする



2 設定する項目にタッチする



明るさ

画面の明るさを調整します。

画面オフ

画面の表示を消します。

消しているときに画面にタッチすると画面を表示します。

アンテナを伸ばす / アンテナをしまう

オートアンテナが「あり」に設定されていると表示されます。(→ P.25)

オートアンテナを伸ばしたり、しまったりします。

ユーザー

本機は2ユーザー分の設定を保持し、切り替えることができます。保持できる設定は以下になります。

- 音量設定 (音声案内、着信、受話、Bluetooth の音質調整のマイクゲイン)
- 地図表示の設定 (地図の向き、縮尺、ランドマーク)
- 登録地点
- 目的地検索履歴
- マイルルートアジャスター

地図の見かたと操作

現在地図画面の見かた

フロントパネルの【現在地 / AV】を押すと、現在地周辺の地図が表示されます（現在地図画面）。



- ① **エコ情報**
エコ情報が点数で表示されます。
- ② **[切替]**
タッチすると2画面表示の設定画面が表示されます。
- ③ **方面看板**
方面看板情報がある交差点に近づくと表示されます。タッチすると表示を消します。
- ④ **ショートカットボタン**
タッチすると、ボタンに割り当てられた機能が実行されます。ボタンの表示する数は「表示S」と「表示L」で異なります。詳細は15ページをご覧ください。
- ⑤ **時計**
現在の時刻が24時間表記で表示されます。本機はGPS電波を利用して自動で時刻を調整します。
- ⑥ **VICS 情報提供時刻**
VICS情報の提供時刻が表示されます。
- ⑦ **現在地情報**
現在の自転車位置の情報が表示されます。
- ⑧ **走行軌跡**
これまでの走行軌跡が水色の点で表示されます。走行軌跡は表示しないように設定できます。また、走行軌跡のデータを消去することもできます。
- ⑨ **ランドマーク**
目印となる施設がマークで地図上に表示されます。

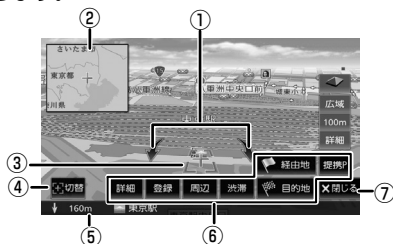
- ⑩ **[広域] / [詳細]**
タッチすると、地図の縮尺を変えることができます。ボタンの間に地図の縮尺が表示されます。縮尺表示にタッチするとスライダーバーが表示され縮尺を変えることができます。
- ⑪ **コンパスボタン**
地図の方位が表示されます。タッチすると、地図の向きを切り替えることができます。
- ⑫ **レーン情報**
次の交差点のレーン情報が表示されます。
- ⑬ **案内地点**
 - ↑ ↓ : 方面看板の案内地点が表示されます。
 - ⊞ : レーン情報の案内地点が表示されます。
- ⑭ **自転車マーク**

細街路（幅員 5.5 m 未満の道路）は、駐停車中または細街路の走行中に表示されます。市街地図の表示中は、常に細街路が表示されます。

- ③、⑫は表示しないように設定できます。

スクロール地図画面の見かた

現在地図画面の地図の部分にタッチ、ドラッグ、フリックすると、地図を動かすことができます（スクロール地図画面）。スクロールした後にフロントパネルの【現在地 / AV】を押すと現在地図画面に戻ります。



- ① **地図回転ボタン** :
3Dビュー表示のときに表示されます。タッチするとカーソルを中心に地図を回転できます。
- ② **フライビューマップ** :
スクロールした地点を広域地図で表示します。フライビューマップは表示しないようにすることもできます。（→ P.23）
- ③ **カーソル** :
地図画面の中心点に表示されます。

④ [切替] :

同じ地点に複数の地点情報があるとタッチすることができます。タッチするたびに地点情報の表示が切り替わります。

⑤ 地点情報 :

カーソルの位置の地点情報 (住所や名称など) と現在地への距離と方向 (矢印) が表示されます。

⑥ [提携 P] :

カーソルのあるランドマークに提携駐車場があるとタッチすることができます。タッチすると提携駐車場を目的地に設定できます。

[目的地] / [経由地] : (経由地は目的地を設定しているときのみ) :

この地点を目的地 / 経由地に設定します。

[渋滞] :

VICS 情報画面が表示されます。

[周辺] :

周辺の施設を検索します。

[登録] :

この地点を登録します。

[詳細] :

地点詳細情報画面を表示します。
携帯電話またはスマートフォンで QR コードを読み取ると、MapFan のサイトに接続し、地点情報や目的地までのルートなどを表示することができます。

⑦ [閉じる] :

⑥の表示を消します。



- 施設名や住所、電話番号などの詳細情報は、本機のデータベースから取得できた場合に表示されます。表示される内容は、取得できた情報によって異なります。
- 走行中は詳細情報の名称のみ表示されます。

ショートカットボタンを使う

現在地図画面にショートカットボタンが表示されます。ショートカットボタンは「S」と「L」があります。

■ ショートカット L 表示時



① [自宅] :

自宅へ帰るルートを探します。自宅を登録していない場合は自宅を登録することができます。

② [周辺] :

現在地の周辺にある施設の検索や、地点情報を表示します。検索した施設を目的地に設定することもできます。

③ [マイメニュー] :

マイメニューを表示します。(→ P.12)

④ [渋滞] :

VICS 情報画面が表示されます。

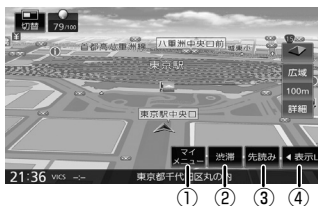
⑤ [先読み] :

ルート案内中にタッチすると案内先読みガイドを表示します。

⑥ [表示 S] :

ショートカット S ボタンを表示します。

■ ショートカット S 表示時



① [マイメニュー] :

マイメニューを表示します。(→ P.12)

② [渋滞] :

VICS 情報画面が表示されます。

③ [先読み] :

ルート案内中にタッチすると案内先読みガイドを表示します。

④ [表示 L] :

ショートカット L ボタンを表示します。

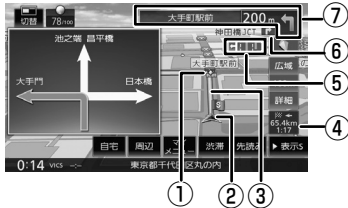
ルート案内中画面の見かた

ルート案内中は、案内ルートのほか、案内ポイントや交通情報など、さまざまな情報が地図に表示されます。

本機のルート案内と実際の交通規制が異なる場合があります。実際の交通規制に従って走行してください。

一般道路でのルート案内

一般道路でのルート案内には次の情報が表示されます。



① ◆案内ポイント

② 自転車位置マーク

③ 案内ルート

目的地または経由地までのルートです。道路の種類(一般道/高速道路/細街路)によって色分けして表示されます。

④ 到着予想時刻と距離

対象の行き先(次の経由地または目的地)への到着予想時刻と距離が表示されます。このボタンにタッチするたびに、対象の行き先が切り替わります。

⑤ レーン情報表示

↑ (白色矢印)：案内レーン
↑ (水色矢印)：推奨通過レーン

⑥ 次々案内ポイント情報

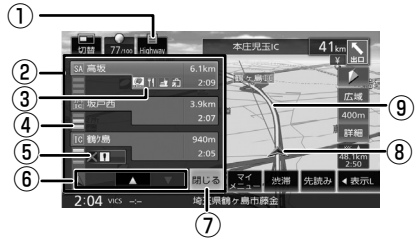
次案内ポイントからさらに次の案内ポイントが近い場合は、その案内ポイントの進行方向が表示されます。

⑦ 次案内ポイント情報

次の案内ポイントの交差点名、距離、および進行方向が表示されます。交差点に名前がない場合は、交差点名は表示されません。

高速道路でのルート案内

高速道路でのルート案内中は、自動的にハイウェイモード画面が表示されます。



① ハイウェイモードボタン

ハイウェイモード画面が表示されていないときにタッチすると、ハイウェイモード画面を表示します。

② ハイウェイモード画面

高速道路を走行中に、ルート上にある施設の情報を表示します。ここでは案内または高速分岐イラストが表示されます。

③ 施設名称/施設案内表示

進行方向にあるインターチェンジ(IC)/ジャンクション(JCT)、サービスエリア(SA)、パーキングエリア(PA)、料金所の名称と距離、通過予想時刻、各施設の設備が表示されます。SA・PAの場合は、タッチすると詳細情報が表示されます。施設情報に表示される設備のマークは、最大4個です。

④ 交通情報表示

施設間の交通情報が表示されます。
 橙色：混雑
 赤色：渋滞

⑤ 規制情報表示

車線規制などの情報(VICS情報規制表示)が3件までマークで表示されます。マークにタッチすると詳細情報を表示します。情報が複数あるときはリストが表示されます。見たい情報にタッチすると詳細情報を表示します。

⑥ スクロールボタン/現区間

ハイウェイモード画面内の施設情報をスクロールします。スクロールすると「現区間」ボタンが表示されます。「現区間」をタッチすると、施設情報が現在地に近い施設に戻ります。

⑦ 閉じる

ハイウェイモード画面を閉じます。
 ①にタッチすると再度表示します。

⑧ 自転車マーク

⑨ 案内ルート



- ・ハイウェイモード画面は、ルート案内中だけでなく、高速道路を走行中も表示されます。ただし、高速道路によってはハイウェイモード画面が表示されない場合があります。

ナビゲーション

ナビゲーションの流れ

ナビゲーション機能の使用方法を流れに沿って説明します。

1 フロントパネルの【HOME】を押す

HOME 画面が表示されます。

2 【目的地検索】にタッチする



目的地検索画面が表示されます。

3 目的地を検索する



名称

施設の名称で行き先を探します。さらにエリア指定やジャンルで絞り込んで行き先を探すこともできます。

名称で行き先を探すと地図画面にピンが表示されます。この画面の操作は 18 ページをご覧ください。

ジャンル

食事や買い物などジャンル、エリアを指定して行き先を探します。

ジャンルで行き先を探すと地図画面にピンが表示されます。この画面の操作は 18 ページをご覧ください。

登録地点

本機に登録した場所（登録地点）から行き先を探します。（→ P.20）

自宅

現在地から自宅に帰るルートを探して、ルート案内を開始します。

あらかじめ自宅の登録が必要です。（→ P.20）

住所

住所から目的地を探します。

履歴

いまままでにルートを探した行き先から探します。

電話番号 / 郵便番号 / マップコード

それぞれのアイコンにタッチして、電話番号、郵便番号またはマップコードを入力し、行き先を探します。

まっぶるコード

まっぶるコードで行き先を探します。

4 【目的地】にタッチする



ルート探索が始まります。



- 目的地を設定している場合は、[経由地] も表示されます。タッチすると経由地として設定されます。

5 ルートの探索条件にタッチする



【推奨】

本機が推奨するルートです。

【距離】

走行距離ができるだけ短くなるルートです。

【高速】

高速道路を優先的に通るルートです。

【一般】

一般道路を優先的に通るルートです。

【高速 / 距離】

高速道路（有料道路）を優先的に通り、一般道路では走行距離ができるだけ短くなるルートです。

【全行程】

すべての条件でルートを探します。各条件のルートと比較することができます。

【ルート情報】

選択した探索条件のルート上にある施設や道路の名称、距離などの情報を表示します。

入神田橋 / 出あきる野

利用するインターチェンジを変更します。有料道路を使用するときに表示されます。

【到着順変更】

経由地を設定したときに到着順を変更することができます。



[マイルートアジャスター]

探索の詳細条件を選択し、マイルート1～3に設定することができます。(右記)

6 [案内開始] にタッチする



ルート案内が開始されます。
ルート案内中の画面は16ページをご覧ください。
ルート案内の中止(終了) (→ P.19)
や再探索はルート画面で行います。
(→ P.20)



- 本機ではスマートフォンアプリケーション「NaviCon」と連携すると「NaviCon」で設定した地点を本機で行き先として設定することができます。詳細については当社ホームページ <http://manual.kenwood.com/edition/2017ld/mdv.html> をご覧ください。

■ 名称またはジャンル検索の操作

名称、ジャンル検索をした場合は、以下の操作を行ってから17ページの手順4に進んでください。

1 [前へ] / [次へ] にタッチして、目的の施設を選ぶ

[前へ] / [次へ] にタッチするたびに施設情報が切り替わります。
施設が1件のときは、[前へ] / [次へ] は表示されません。



[リスト]:

リストから施設を選ぶことができます。



- 地図をスクロールして[この地点を選択]にタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

2 [このピンを選択] にタッチする



17ページ手順4へ

探索条件の詳細設定をする (マイルートアジャスター)

1 [マイルートアジャスター] にタッチする



2 探索条件を登録したいマイルート1～3のいずれかにタッチして (①) 設定したい項目にタッチして (②) 調整する (③)



3 [再探索] にタッチする



ルートを再探索します。



- ナビ設定からも設定することができます。(→ P.24)

案内先読みガイド表示

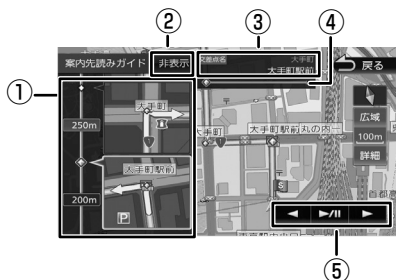
次の案内ポイントから目的地までの最大 99 案内ポイントを見ることができます。

また、案内先読みガイド内のルートを、地図をスクロールして表示することができます。(オンルートスクロール)

1 [先読み] にタッチする



案内先読みガイドが表示されます。



① 案内先読みガイド

画面下から上にスクロールすると次の案内ポイントから目的地までの最大 99 案内ポイントが 2 ポイントずつ表示されます。

② [非表示]

案内先読みガイドの表示を消します。消すと [非表示] は [表示] になります。[表示] にタッチするとガイドを表示します。

③ 交差点名

①の案内ポイントに交差点名情報があるときに表示します。上段に①の上の交差点名、下段に①の下の交差点名を表示します。

④ プログレスバー

案内先読みガイド表示 (最大 99) 全体の内のどのあたりのガイド表示かを表します。

⑤ オンルートスクロール操作ボタン

ボタン	説明
	探索したルートに沿って、順方向へスクロールします。
	探索したルートに沿って、逆方向へスクロールします。



オンルートスクロール中にタッチすると一時停止します。一時停止中にタッチすると一時停止する前の状態に戻ってオンルートスクロールを再開します。



- ・オンルートスクロール中に地図の拡大、縮小または地図のスクロールをすると一時停止します。

案内を終了する

ルート案内中に案内を終了します。

1 フロントパネルの [HOME] を押す

2 [ルート] にタッチする



3 [案内終了] にタッチする



メッセージが表示されます。

4 [はい] にタッチする

ルート案内が終了し、現在地図画面が表示されます。



- ・ルート案内を終了しても、スタート地点、経由地、目的地の旗は消えません。旗を消したい場合は、新たにルート案内を開始するか、本機の電源を入れなおしてください。

ルート編集

ルートの編集ができます。

- 1 フロントパネルの【HOME】を押す
- 2 [ルート]にタッチする



- 3 項目にタッチする



再探索

現在地から、探索条件（推奨、距離、高速、一般、高速/距離）を変更して、ルートを再探索します。

到着順変更

経由地の順番の入れ替え、削除など、ルートの編集ができます。

ルート表示

ルートの全体地図と情報を表示します。



【ルート情報】：

ルート上にあるインターチェンジ、道路の名称、距離などの情報を表示します。

【デモ走行】：

地図やルート、画面表示や音声でのルート案内を確認することができます。

目的地表示

目的地、経由地付近の地図を表示できます。

自宅または地点を登録する

地点を本機に登録することができます。自宅を登録すると、お出かけ先から自宅までのルート案内を簡単にはじめることができます。

地点は 300 件まで（自宅を含む）登録できます。

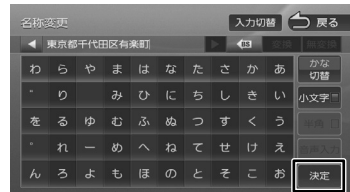
- 1 自宅の場所または登録したい地点にカーソルを合わせて、【登録】にタッチする



- 2 自宅の場合は【自宅】にタッチする
それ以外の場合は登録先のグループにタッチする



- 3 【決定】にタッチする



この画面で名称を編集することができます。文字の入力方法は 21 ページをご覧ください。



• 名称は、後からでも編集することができます。（→ P.21）

• 「自宅」または「特別メモリ地点 1」～「特別メモリ地点 5」を変更したいときは、新しく「自宅」または地点を登録します。登録すると確認メッセージが表示され、【はい】にタッチすると変更されます。先に「自宅」または「特別メモリ地点 1」～「特別メモリ地点 5」として登録されていた地点は「未分類」グループに変更されます。

• グループの「自宅」、「特別メモリ地点 1」～「特別メモリ地点 5」は、それぞれ 1 か所のみ登録できます。

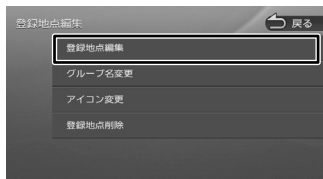
地点情報を編集する

登録した地点の名称、電話番号、グループを編集します。自宅は名称と電話番号を編集することができます。

- 1 [HOME] を押して [情報・設定] にタッチして [登録地点編集] にタッチする



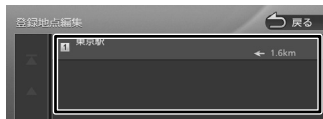
- 2 [登録地点編集] にタッチする



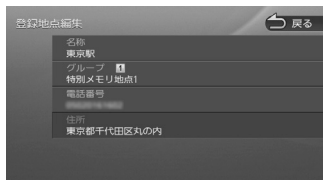
- 3 編集したい地点のグループにタッチする



- 4 編集したい地点にタッチする



- 5 編集したい項目にタッチする



- 名称を編集する
名称欄にタッチして名前を入力して [決定] にタッチします。

- グループを変更する
グループ欄にタッチして設定したいグループにタッチします。
- 電話番号を設定および変更する
電話番号欄にタッチして電話番号を入力して [決定] にタッチします。



- 登録地点の住所は編集できません。
- 電話番号は 15 文字まで入力できます。
- 電話番号のハイフン「-」は省略することもできます。
- 「自宅」または「特別メモリ地点 1」～「特別メモリ地点 5」が登録されているときに、別の地点をグループ変更で「自宅」または「特別メモリ地点」に登録しようとするすると確認メッセージが表示されます。
- 名称には、漢字、ひらがな、カタカナ、英数、記号で 48 文字まで入力できます。

文字の入力方法

■ 入力方法を切り替える

文字の入力方法をキーボードのような入力パレットと携帯電話のようなトグル入力に切り替えます。

- 1 [入力切替] にタッチする



■ 文字の種類を切り替える

- 1 切り替える文字の種類にタッチする



タッチするたびにかな (ひらがな) / カナ (カタカナ) / 英数 (英字 / 数字) / 記号に切り替わります。

[小文字] :

小文字に切り替わります。

[半角] :

半角英数文字または記号に切り替わります。

入力パレットで文字を入力する

キーボードを使って文字を入力します。ひらがな、カタカナ入力の場合は、漢字に変換することもできます。

1 文字を選んでタッチする



【音声入力】

カーナビ連携スマホアプリケーション「VOIPUT」を使うときに使用します。

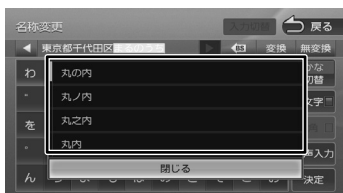
2 変換する場合は、[変換] にタッチする



【無変換】：

文字を変換せず、入力した状態で確定します。

3 変換候補リストから単語を選んでタッチする



文字の変換結果が確定されます。

4 [決定] にタッチする



トグル入力で文字を入力する

1 文字を選んでタッチする



例：「い」を入力する場合

[あ]を2回タッチします。

例：「あい」を入力する場合

[あ]をタッチし、[送り]にタッチしたあと、[あ]を2回タッチします。

2 変換する場合は、[変換] にタッチする

【無変換】：

文字を変換せず、入力した状態で確定します。

3 変換候補リストから単語を選んでタッチする

文字の変換結果が確定されます。

4 [決定] にタッチする



- **◀** または **▶** にタッチして消去したい文字の後ろにカーソルを移動して **BS** にタッチすると文字を消すことができます。
- **BS** を押し続けると、入力した文字列が全消去されます。

情報・設定

情報・設定画面

情報・設定画面では、VICS 情報、ETC 情報などの表示や、ナビゲーション、サウンドなどに関する設定のカスタマイズができます。

1 フロントパネルの [HOME] を押す

HOME 画面が表示されます。

2 [情報・設定] にタッチする



情報・設定画面が表示されます。

3 項目にタッチする



VICS

VICS 情報を表示します。

接続

本機に接続されている機器の接続状態や GPS の受信状態などを表示します。(→ P.27)

バージョン

本機に収録されている各種データのバージョン情報を表示します。

ETC

本機に接続されている ETC 機器の履歴や情報を表示します。

ECO

エコドライブ情報を表示します。

ナビ

ナビゲーションに関する設定を行います。

サウンド

バランスやイコライザーなどサウンドに関する設定を行います。(→ P.24)

システム

システムに関する設定を行います。(→ P.25)

外部機器

本機に接続する外部機器に関する設定を行います。(→ P.25)

登録地点編集

登録地点の編集を行います。(→ P.21)

ナビ設定

*: お買い上げ時の設定です。

● 地図

地図の表示に関する設定ができます。

項目	設定
地図色 / 文字サイズ	地図色: 1*/2 文字サイズ: 小 / 中* / 大 地図色昼夜切替: 昼色に固定 / 夜色に固定 / 自動*
ランドマーク表示	表示したい項目にチェックマークを付けます。[表示オフ] にタッチするとチェックが付いている項目も含めて表示しません。
登録地点表示	
自転車マーク	▲*/ /●
走行軌跡の表示	ON*/OFF
走行軌跡を消去	本機に記憶されている走行軌跡を消去します。
地図の向き	ノースアップ / ヘディングアップ / 3D ビュー*
地図の向き (小画面)	ノースアップ / ヘディングアップ / 3D ビュー*
フライビューマップ表示	ON*/OFF
市街地図の表示縮尺	50m 以下 / 100m 以下*
盗難多発地点表示	ON*/OFF 縮尺が 200m 以下の地図表示のとき、盗難が多発している場所を赤色、橙色、黄色で区分し表示します。
冠水注意地点表示	ON*/OFF ・縮尺が 200 m 以下の地図表示のとき、豪雨時に一時的に道路が冠水し通行に支障・危険をもたらすおそれがある場所を表示します。 ・冠水注意ポイント表示は一部地域を除く都道府県で表示対応しています。

● 案内

ルート案内に関する設定ができます。

項目	設定
案内音声の音量	1 ~ 25* ~ 40
案内音声音量の車速連動	ON*/OFF 車速に応じて、案内音量を自動で調整するかどうかを設定します。
案内警告音の出力	ON*/OFF
ルート案内音声の出力	ON*/OFF
合流 / 踏切 / 車線案内音声の出力	常に OFF / ルート案内時のみ ON / 常に ON*
ETC 音声の出力	ON*/OFF
ETC 料金の表示	ON*/OFF
レーン情報の表示	ON*/OFF
方面看板の表示	ON*/OFF
高速道分岐イラストの表示	ON*/OFF
交差点案内図の表示	ON*/OFF
ここです案内表示	OFF / 一般道のみ ON* / ON
ETC レーンの表示	ON*/OFF
AV 画面時の地図割り込み	ON*/OFF AV 画面表示中に案内ポイントに近づいたときに、ルート案内画面を割り込ませるかどうかが設定されます。
盗難多発地点音声案内	ON*/OFF



- 「交差点案内図の表示」と「ここです案内表示」を両方 ON に設定している場合は、案内ポイントの 50m 手前（高速道路では 300m 手前）で、ここです案内から交差点案内図の表示に切り替わります。

● 探索

ルート探索に関する設定ができます。

項目	設定
優先する探索条件	推奨*、距離、高速、一般、高速 / 距離
マイルルートアジャスター	探索の詳細条件を選択し、マイルルート 1 ~ 3 に設定することができます。（→ P.18）
スマート IC 考慮	ON/OFF*

項目	設定
目的地の横付けを考慮した探索	ON*/OFF 目的地の施設が道路の反対側などに来ないように横付けまで考慮した探索を行うかどうかを設定します。
フェリーを利用した探索	ON/OFF*

● 交通情報

項目	説明
VICS 情報表示	表示する VICS 情報を設定します。また割り込み表示をするかどうかも設定することができます。
図形情報の割り込み表示	
文字情報の割り込み表示	
割り込み表示の時間	
ETC2.0 (DSRC) 優先情報の割り込み表示	
ETC2.0 (DSRC) 一般情報の割り込み表示	
ETC2.0 (DSRC) アップリンク	

● その他

現在地修正や更新用の SD カードの作成ができます。

項目	設定	説明
NaviCon 友達マップ		NaviCon で使用します。
車両ナンバー	軽 / 5・7* / 3 / 1	
現在地修正		自車位置や向きがずれたときに、地図上の自車位置と向きを修正します。
地図更新プログラム		地図の更新用の SD カードを作成します。
オービス更新プログラム		オービスの更新用の SD カードを作成します。

サウンド設定



- サウンドの設定は AV ソースを選択しているときに行ってください。ソースがオフ (STANDBY) のときは、サウンドの設定はできません。

項目	設定
リスニング設定	リスニングポジションを設定します。
イコライザー	音質を設定します。

項目	設定
バランス / フェーダー	左右 / 前後の音量バランスを設定します。
音質・音場効果	ミュージックパスブースト / ミュージッククラウドネス / Drive Equalizer + / K2テクノロジー (MDV-D504BTW/MDV-D504BTのみ) / リアライザー / サウンドライザーを設定することができます。
スピーカー	スピーカーの構成と車両タイプを設定します。
ソースレベル	+5 ~ 0* ~ -5 各 AV ソースの音量をそろえます。

システム設定項目

- AV
音声案内時の AV 音量など、音量に関する設定ができます。

項目	設定
案内音声出力時の AV 音量	そのまま / 下げる * / 消音
リバース時の AV 音量ダウン	ON*/OFF 車両をバックするときに AV ソースの音量を下げるかどうかを設定します。
スターターボリューム	動作しない* / 更新間隔: 速 / 更新間隔: 中 / 更新間隔: 遅

- 表示

項目	設定
映像画面 / 消灯画面の時計表示	ON*/OFF

- 車両
オートアンテナ、ステアリングリモコンの設定ができます。

項目	設定
オートアンテナ	あり / なし * オートアンテナを装着しているときに設定してください。(→ P.13)
ステアリングリモコン	ステアリングリモコンを使用するときに設定します。お使いの車メーカーを選択してください。お使いの車メーカーに合わせたステアリングリモコンキーの割り当てを設定します。ユーザー独自のキーを割り当てたい場合は [ユーザー学習] を選択して [ステアリングリモコン学習] にタッチして割り当てを行ってください。

項目	設定
ステアリングリモコン学習	ステアリングリモコンの設定で [ユーザー学習] を選んだときはここにタッチしてキーを割り当ててください。

- 一般
SD カードの初期化、暗証番号の登録、変更などができます。

項目	設定
SD カード初期化	SD カードを初期化します。SD カード内のすべてのデータが消去されます。
操作音の出力	ON*/OFF 操作音の出力をすらかしなないかを設定します。
ショートカットボタン登録	ショートカットボタンに機能を登録します。(→ P.12)
暗証番号登録	本機の起動のための暗証番号を設定します。
暗証番号解除	設定した暗証番号を解除します。
暗証番号変更	設定した暗証番号を変更します。
セキュリティインジケータ	ON/OFF*

- 特別
設定の初期化や、ユーザー切替を行います。

項目	設定
オープンソースライセンス	ライセンスを表示します。
ユーザー切替	2 ユーザー分の設定を保持し、切り替えることができます。
設定データの書き出し	設定データの書き出し、読み込みを行います。(→ P.26)
設定データの読み込み	
システムの初期化	タッチするとメッセージが表示されます。[[はい]] にタッチします。暗証番号設定と SD カードに録音した曲は消去されません。

外部機器設定

- Bluetooth
Bluetooth の設定については 40 ページをご覧ください。
- AV

項目	設定
iPhone との接続方法	USB*/Bluetooth iPod ソースを使うときの iPhone または iPod touch の接続方法を設定します。

● カメラ

項目	設定
リアカメラ接続	なし*/汎用カメラ/専用カメラ(コントロール機能付) リアビューカメラの接続を設定します。
リアカメラ調整	専用カメラの調整を行います。汎用カメラの場合はガイド線を調整します。

● その他

項目	設定
ETC2.0(DSRC)接続	なし*/タイプA/タイプB ETC2.0(DSRC)車載器の接続を設定します。
EXPコネクター接続	なし*/ETC/ドライブレコーダー ドライブレコーダーを接続したときはドライブレコーダーに設定してください。ETC車載器を接続したときは、ETCに設定してください。



- ・「ETC2.0(DSRC)接続」および「EXPコネクター接続」は、次回起動時から有効となります。設定後は、本機の電源をオフにしてオンにしてください。

地図更新について

開通した道路情報の更新

高速道路や主要道路などで新しい道路が開通した際に本機の道路情報を更新することができます。詳細は <http://www.kenwood.com/jp/cs/car/navi/> をご覧ください。

地図を更新する

地図更新については、同梱の「地図更新のお知らせ」をお読みください。

■ オービスデータについて

オービスデータは、SDカード版またはデータダウンロード版をお得に購入することができます。

購入については当社ホームページ

http://www.kenwood.com/jp/products/car_audio/option/orbis/ をご覧ください。

設定データ保存

本機にSDカードを挿入して、本機の設定をSDカードに保存することができます。保存したデータは読み込むこともできます。保存できる項目については <http://manual.kenwood.com/edition/2017ld/mdv.html> の「取扱説明書<詳細版>」をご覧ください。

1 フロントパネルの【HOME】を押す

HOME画面が表示されます。

2 [情報・設定]にタッチする



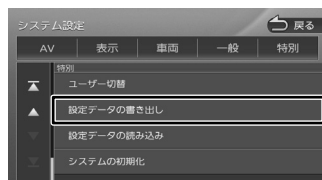
情報・設定画面が表示されます。

3 [システム]にタッチする



システム設定画面が表示されます。

4 「特別」の「設定データの書き出し」にタッチして、「[はい]」にタッチする



SDカードに保存されると自動で再起動します。書き出したデータを読み込むときは「設定データの読み込み」にタッチします。読み込みが終了すると自動で再起動します。

接続状態を確認する

- 1 フロントパネルの [HOME] を押す
- 2 [情報・設定] にタッチする



情報・設定画面が表示されます。

- 3 [接続] にタッチする



接続情報が表示されます。



表示または設定できる項目は以下のとおりです。

項目	説明
センサー学習	センサーの学習状態を表示します。 [初期化] にタッチすると、センサーの学習を初期化します。
車速パルス	車速パルスの値を表示します。 [デジタル] または [アナログ] にタッチすると、パルス入力モードを切り替えます。
GPS	GPS アンテナの接続状態を表示します。 正しく接続されている場合は、測位状態を表示します。
リバース信号	リバース検出コードの接続状態を表示します。

項目	説明
パーキングブレーキ	パーキング検出コードの接続状態を表示します。
イルミネーション	イルミネーションコードの接続状態を表示します。
ETC 車載器	ETC 車載器の接続状態を表示します。
ETC2.0 (DSRC) 車載器	ETC2.0(DSRC) 車載器の接続状態を表示します。 接続中： ETC2.0(DSRC) 車載器を接続しているときに表示します。 接続中 + 光： ETC2.0(DSRC) が光ビーコンに対応しているときに表示します。



- ・ センサーの学習初期化は、タイヤを交換したときなどに使用してください。

■ センサーの学習について

本機は、GPS の情報と内蔵センサーの情報を元に、自車位置精度を高めるためにセンサー学習を行っています。

一度学習した後も、常に変化に応じて再学習をしています。タイヤを交換した後、自車位置のずれが大ききようであれば、センサー学習のリセットを行ってください。

センサー学習をリセットした場合、しばらく走行すると新しくセンサー学習します。学習が完了すると、自車マークの位置が正しく表示されます。

正しくセンサー学習をするには

- GPS 情報の受信が良好な場所で、安定した速度で直進走行してください。
- 障害物（建物、街路樹など）が少ない場所を走行してください。



- ・ センサー学習中は、自車位置がずれる場合があります。
- ・ GPS アンテナの接続状態や、GPS 情報の受信状態、学習状況は、本機の画面で確認することができます。

AV 操作

ソースを切り替える

ソース切替画面でソース（音源）を切り替えます。

- 1 フロントパネルの [HOME] を押す
HOME 画面が表示されます。
- 2 [ソース切替] にタッチする



ソース切替画面が表示されます。

- 3 切り替えたいソースにタッチする



選択したソースの AV 画面に切り替わります。

iPod

iPod の曲を再生します。
(→ P.29)

USB

USB 機器のオーディオ / ビデオファイルを再生します。(→ P.30)

SD

SD カードのオーディオ / ビデオファイルを再生します。(→ P.30)

DISC

CD や DVD、オーディオファイルを保存した CD-R などのディスクを再生します。
(→ P.31)

地デジ (MDV-D504BTW/MDV-D504BT)

地デジを受信します。(→ P.33)

ワンセグ (MDV-D404BTW/MDV-D404BT)

ワンセグを受信します。(→ P.34)

FM/AM/ 交通情報

それぞれにタッチすると FM、AM ラジオ放送または交通情報を受信します。(→ P.33)

Bluetooth AUDIO

本機に接続した Bluetooth 対応オーディオプレーヤーを再生します。(→ P.35)

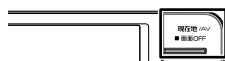
STANDBY

ソースをすべてオフにします。

現在地図画面と AV 画面を切り替える

- 1 【現在地 / AV】を押す

MDV-D504BTW/MDV-D404BTW



MDV-D504BT/MDV-D404BT



映像画面の操作

ビデオファイルや映像が表示されているときに、操作ボタンを画面に表示させます。

- 1 画面をタッチする

操作ボタンが表示されます。



[非表示] にタッチするとボタンが消えます。

スペクトラムアナライザー表示について (MDV-D504BTW/MDV-D504BT のみ)

画面デザインをスペクトラムアナライザーにしているときは、[表示] にタッチすると全てのボタン (サブ機能ボタン) が表示されます。

例：iPod ソース画面



サブ機能ボタンは一定の時間が過ぎると消えます。画面の [閉じる] でも消すことができます。

K2 テクノロジーについて (MDV-D504BTW/MDV-D504BT のみ)

各ソースの AV 画面に「K2 テクノロジー」をオン/オフするボタンがあります。チェックが付いていると、録音時に失われた信号成分を補完し、より自然な音声再生にします。

iPod

iPod ソースのコントロール

- iPod ソース中にコントロールできるのは音楽再生のみです。ビデオの再生コントロールはできません。

■ USB で接続する

本機の USB 端子に iPod を接続するときは、別売の iPod 接続ケーブルが必要です。

Dock コネクタ (30 ピン) 搭載モデル

KCA-iP102 (別売品)

Lightning™ コネクタモデル

KCA-iP103 (別売品)

■ Bluetooth で接続する

- Bluetooth 接続するときは設定が必要です。
[情報・設定] - [外部機器] - [AV] の [iPhone との接続方法] で「Bluetooth」を選んでください。

USB 接続時のご注意

- iPod 接続ケーブルを接続する USB ケーブルは、本機の背面から出ています。見当たらない場合は、グローブボックスなどに配線されていることがありますので、ご確認ください。

Bluetooth 接続時のご注意

- iPod の接続方法の変更するときに、Bluetooth 接続している場合は Bluetooth 接続を解除してから設定を変更してください。



ボタン	説明
	前 / 次の曲を再生します (スキップ)。 タッチし続けると、早戻し (バックサーチ) または早送り (フォワードサーチ) します。
[デバイス切替] (Bluetooth 接続時のみ)	Bluetooth 接続のときは、Bluetooth デバイス接続画面を表示します。
	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> • OFF : リピート再生モードを解除します。 • ALL : リスト内のすべての曲をくり返し再生します。 • 1 : 再生中の曲をくり返し再生します。
	タッチするたびにシャッフル再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> • OFF : シャッフル再生モードを解除します。 • 曲 : リスト内の曲をシャッフル再生します。 • アルバム順 : アルバムをシャッフル再生します。アルバム内の曲は曲順どおりに再生されます。

ボタン	説明
[切替]	画面のデザインが切り替わります。(MDV-D504BTW/MDV-D504BT のみ)
[リスト]	再生リストを表示します。
	再生または一時停止 (ポーズ) します。

USB/SD

< オーディオファイル >



< ビデオファイル >



ボタン	説明
[切替]	オーディオファイル再生時の画面デザインが切り替わります。(MDV-D504BTW/MDV-D504BTのみ)
[非表示]	ビデオファイル再生時の操作ボタンを消します。
[映像調整]	映像の画質を調整します。(→ P.38)
[リスト]	再生リストを表示します。(後述)
▶/	再生または一時停止(ポーズ)します。
◀◀ / ▶▶	前または次のファイルを再生します(スキップ)。タッチし続けると、早戻し(バックサーチ)または早送り(フォワードサーチ)します。
◀ / ▶	前/次フォルダの先頭ファイルから再生します。
[カテゴリー DB更新]	再生中のUSB機器またはSDカードの、カテゴリーデータベースの作成または更新をします。
🔄	<p>タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 🔄 OFF: ランダム再生モードを解除します。 🔄 フォルダ (パソコンで保存したファイル再生のみ): 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをランダム再生します。 🔄 曲 (カテゴリーデータベース再生のみ): 再生中のリスト内のファイルをランダム再生します。

🔄	<p>タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 🔄 ALL: すべてのファイルをくり返し再生します。 🔄 1: 再生中のファイルをくり返し再生します。 🔄 フォルダ (パソコンで保存したファイル再生のみ): 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをくり返し再生します。
---	--

■ 再生リストと再生モードについて

USBソースおよびSDソースの再生には以下の再生モードがあります。[リスト]にタッチして再生リストを表示します。モードのリストを切り替えるボタンにタッチするたびにリストが切り替わります。ただし該当するデータがない場合は切り替わりません。



モードを切り替えるボタン

● 再生モード

再生リスト	再生モード
フォルダリスト	パソコンで保存したファイルをそのままの状態でも再生します。[トップ]、[一つ上]にタッチするとフォルダが表示されます。
録音データ (SDのみ)	本機でSDカードに録音したデータを再生します。[トップ]、[一つ上]にタッチするとアーティスト、アルバムなどのカテゴリーが表示されます。

カテゴリーリスト	本機でカテゴリーデータベースを作成したUSB機器またはSDカードをカテゴリーから選んで再生します。 [トップ]、[一つ上] にタッチするとアーティスト、アルバムなどのカテゴリーが表示されます。
----------	---



- カテゴリーデータベースモードは、データベースを作成する必要があります。
- SD に録音された録音データのカテゴリーデータベースは自動で作成、更新されます。

DISC

<DVD-Video/DVD-VR>



ボタン	説明
[非表示]	操作ボタンを消します。
[映像調整]	映像の画質を調整します。(→ P.38)
[トップメニュー]	ディスクのトップメニューを表示します。(DVD-Videoのみ)
[メニュー]	ディスクのメニューを表示します。(DVD-Videoのみ)
[プログラムリスト]	プログラムリストを表示します。(DVD-VRのみ)
[プレイリスト]	プレイリストを表示します。(DVD-VRのみ)
	再生または一時停止(ポーズ)します。
	再生を停止します。
	前または次のチャプターを再生します(スキップ)。 タッチし続けると、早戻し(バックサーチ)または早送り(フォワードサーチ)されます。
	カーソルを表示します。(DVD-Videoのみ)
[DVD設定]	DVDの設定画面を表示します。 このボタンにタッチすると、再生中のビデオは停止します。
[音声切替]	音声を切り替えます。

ボタン	説明
[字幕切替]	字幕を切り替えます。
[アングル]	アングルを切り替えます。(DVD-Videoのみ)
	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> • ALL : すべてのチャプターをくり返し再生します。 • チャプター : 再生中のチャプターをくり返し再生します。 • タイトル : 再生中のタイトルをくり返し再生します。 • プログラム (DVD-VRのみ) : 再生中のプログラムをくり返し再生します。 • プレイリスト(DVD-VRのみ) : 再生中のプレイリストをくり返し再生します。

<音楽 CD>



<オーディオファイルディスク>



ボタン	説明
	画面のデザインが切り替わります。(MDV-D504BTW/ MDV-D504BTのみ)
	再生または一時停止(ポーズ)します。
	前または次の曲を再生します(スキップ)。 タッチし続けると、早戻し(バックサーチ)または早送り(フォワードサーチ)されます。
	前/次のフォルダの先頭ファイルから再生します。
	再生中の曲またはファイルの再生リストを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> ・[トップ] (オーディオファイルディスクのみ) : 一番上の層のフォルダに移動します。 ・[一つ上] (オーディオファイルディスクのみ) : 一つ上の層のフォルダに移動します。
	現在の音楽 CD を SD カードに録音します。 [録音停止] にタッチすると、録音を停止します。
	「KENWOOD Music Info.」で使用します。(MDV-D504BTW/ MDV-D504BTのみ)
	SD カードに録音するときの音質設定をします。

	<p>タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ OFF : ランダム再生モードを解除します。 ・ ALL (音楽 CD のみ) : アルバム内の曲をランダム再生します。 ・ フォルダ (オーディオファイルディスクのみ) : 再生中の曲が含まれるフォルダ内のすべての曲をランダム再生します。
	<p>タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ALL : すべての曲をくり返し再生します。 ・ 1 : 再生中の曲をくり返し再生します。 ・ フォルダ (オーディオファイルディスクのみ) : 再生中の曲が含まれるフォルダ内のすべての曲をくり返し再生します。

AM/FM



ボタン	説明
[切替]	画面のデザインが切り替わります。(MDV-D504BTW/MDV-D504BTのみ)
◀/▶	放送局を選択します。タッチするたびに、1ステップずつ周波数を変えて選局します(マニュアル選局)。タッチし続けると、タッチしている間、周波数が連続して変わります。
◀◀/▶▶	プリセット局を番号順に受信します。「サーチ中…」が表示されるまでタッチし続けると、受信可能な放送局を自動的に受信します(オート選局)。
[1] ~ [8] (プリセットボタン)	プリセットされている放送局を受信します。
[リスト]	プリセットモードがエリアの時に、登録データから取得した放送局をリストで表示します。
[プリセット切替]	プリセットモード(エリア/お気に入り1/お気に入り2)を切り替えます。

交通情報



ボタン	説明
[切替]	画面のデザインが切り替わります。(MDV-D504BTW/MDV-D504BTのみ)
[1620kHz] / [1629kHz]	受信周波数を1620kHzまたは1629kHzに手動で切り替えます。



- 交通情報の音量は、他のソースから独立して調整できます。

地デジ

(MDV-D504BTW/MDV-D504BTのみ)



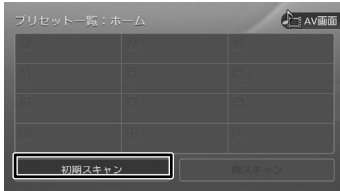
ボタン	説明
[非表示]	操作ボタンを消します。
[映像調整]	映像の画質を調整します。(→ P.38)
[1] ~ [12] (プリセットチャンネルボタン)	プリセットされている放送局に切り替えます。視聴している放送局が複数のサービスを放送している場合は、■□が表示されます。視聴中のプリセットボタンをタッチするたびに切り替えます。
[プリセット一覧]	プリセット一覧を表示します。タッチするとプリセットされている放送局に切り替えます。視聴している放送局が複数のサービスを放送している場合は、■□が表示されます。視聴中のプリセットボタンをタッチするたびに切り替わります。
◀◀/▶▶	前または次のプリセット局を選局します。
[番組表]	番組表を表示します。
[プリセット切替]	プリセットモード(エリア/ホーム/お出かけ)が切り替わります。「エリア」は現在地周辺の地域のチャンネルが自動でプリセットされます。「ホーム」または「お出かけ」をはじめでご使用になる場合は初期スキャンを行ってください。
[受信モード切替]	受信モードを切り替えます。 固定 1Seg : ワンセグ固定モードに切り替えます。 固定 12Seg : 12セグ固定モードに切り替えます。 自動 : 自動受信モード(1Seg または 12Seg)に切り替えます。
[音声切替]	視聴番組に複数の音声/二重音声があるときに、音声を切り替えます。なお、番組によって、切り替わる音声の種類は異なります。
[字幕切替]	番組に字幕があるときに、字幕を切り替えます。なお、ボタンが表示されていても、字幕が放送されていない場合があります。

ボタン	説明
[映像切替]	視聴番組に複数の映像があるときに、映像を切り替えます。
[地デジ設定]	地デジ設定画面を表示します。

■ ホームとお出かけに放送局をプリセットする

[プリセット切替] にタッチして「ホーム」または「お出かけ」に切り替えます。
[プリセット一覧] にタッチします。

[初期スキャン] にタッチします。



現在地の都道府県にタッチして [はい] にタッチします。受信できる放送局を検索し、プリセットに登録します。



- ・ [再スキャン] は初期スキャンを行ったあとで、新たに受信できる放送局を空いているプリセットボタンに登録します。
- ・ 再スキャンはすでにプリセットされている内容はそのまま残ります。
- ・ プリセットした後に初期スキャンをするとプリセットされていた内容はすべて消去され新たにプリセットします。

■ 地デジの設定をする

項目	説明
1Seg/12Seg自動切替設定	推奨*/12Segを優先/切替頻度を低減受信モードを [自動] に設定している場合に、優先させる切替条件を設定します。
中継局/系列局サーチ	自動切替しない/自動切替 (中継局) / 自動切替 (中継局+系列局) * 中継局サーチ時の切り替え方法を設定します。
文字スーパー	表示しない/第一言語*/第二言語表示する文字スーパーを設定します。
デバイス ID	受信識別情報が表示されます。この情報は、受信不具合のお問い合わせ時に必要になることがあります。

ワンセグ

(MDV-D404BTW/MDV-D404BT のみ)








ボタン	説明
[非表示]	操作ボタンを消します。
[映像調整]	映像の画質を調整します。(→ P.38)
[1] ~ [12] (プリセットチャンネルボタン)	プリセットされている放送局に切り替えます。視聴している放送局が複数のサービスを放送している場合は、■□が表示されます。視聴中のプリセットボタンをタッチするたびに切り替えます。 プリセットの方法については前述、地デジの「ホームとお出かけに放送局をプリセットする」をご覧ください。
[プリセット一覧]	プリセット一覧を表示します。タッチするとプリセットされている放送局に切り替えます。 視聴している放送局が複数のサービスを放送している場合は、■□が表示されます。視聴中のプリセットボタンをタッチするたびに切り替わります。
◀▶	前または次のプリセット局を選局します。
[番組表]	番組表を表示します。
[プリセット切替]	プリセットモード (エリア / ホーム / お出かけ) が切り替わります。「エリア」は現在地周辺の地域のチャンネルが自動でプリセットされます。「ホーム」または「お出かけ」をはじめでご使用になる場合は初期スキャンを行ってください。
[ワンセグ設定]	受信レベルが低下して番組を視聴できなくなったとき、自動的に受信可能な中継局 / 系列局を探して切り替えることができます。(中継局サーチ / 系列局サーチ)
[音声切替]	視聴番組に複数の音声 / 二重音声があるときに、音声を切り替えます。なお、番組によって、切り替わる音声の種類は異なります。
[字幕切替]	番組に字幕があるときに、字幕を切り替えます。 なお、ボタンが表示されていても、字幕が放送されていない場合があります。

Bluetooth AUDIO

Bluetooth AUDIO ソースを再生する前に、本機に Bluetooth 機器を登録 (ペアリング) してください。登録方法は、38 ページをご覧ください。



ボタン	説明
【切替】	画面のデザインが切り替わります。
【デバイス切替】	Bluetooth デバイス接続画面を表示します。
	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。
	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。
	再生します。
	一時停止 (ポーズ) します。
	前または次のファイルを再生します (スキップ)。 タッチし続けると、早戻し (バックサーチ) または早送り (フォワードサーチ) します。
【リスト】	再生中のファイルの再生リストを表示します。 <ul style="list-style-type: none">• [トップ]: 一番上の層のフォルダに移動します。• [一つ上]: 一つ上の層のフォルダに移動します。

音楽CDをSDカードに録音する

再生中の音楽CDをSDカードに録音します。

- 録音中は、地デジ、ワンセグとSDは選択することができません。
- 録音中に電源をオフにしないでください。ファイルが消えてしまったり、SDカードが破損するおそれがあります。電源をオフにしたい場合は、録音を中止してから行ってください。
- 録音中に録音を中断しても、それまでに録音を完了しているデータは保存されます。
- 録音ファイルは、次のように名前が付けられます。
 - タイトル名：“Track” + Track番号 + 年（西暦） + 月日 + 時刻（24時間制）
 - アルバム名：“Album” + 年（西暦） + 月日 + 時刻（24時間制）
 - アーティスト名：“Artist” + 年（西暦） + 月日 + 時刻（24時間制）

なお、年、月日、時刻は、その音楽CDが初めて録音されたときの開始時点のものです。

■ 録音可能曲数について

録音可能曲数は、録音品質によって異なります。

- SDカード（8GBの場合）：
 - 標準音質 … 約2000曲
 - 高音質 … 約1000曲

■ 録音可能アルバム数について

最大999枚録音できます。

1 フロントパネルの【HOME】を押す

HOME画面が表示されます。

2 【ソース切替】にタッチする



3 【DISC】にタッチする



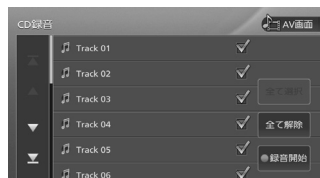
CDの再生が始まり、DISC画面が表示されます。

4 【録音】にタッチする



CD録音画面が表示されます。

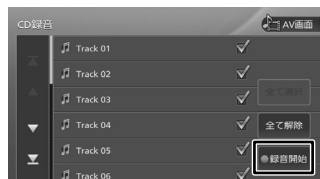
5 録音する曲にタッチする



【全て選択】 / 【全て解除】：

録音する曲の選択を、全て選択・解除できます。

6 【録音開始】にタッチする



確認メッセージが表示されます。

7 【はい】にタッチする

録音が始まります。



【録音停止】：

録音を停止して、ディスクの1曲目から再生します。

すべての録音を終了すると、「録音モード終了」が表示されます。「録音モード終了」にタッチして【はい】にタッチすると、ディスクの1曲目から再生されます。

録音データを再生するには、ソースをSDにします。(→ P.30)

録音データのタイトルを編集する

SD カードに録音したデータのタイトル（曲名、アルバム名、アーティスト名、ジャンル）を編集します。



- 入力可能最大文字数は、曲名 / アルバム名 / アーティスト名それぞれ 128 文字です。
- 文字の入力方法については 21 ページをご覧ください。

1 フロントパネルの [HOME] を押す

HOME 画面が表示されます。

2 [ソース切替] にタッチする



ソース切替画面が表示されます。

3 [SD] にタッチする



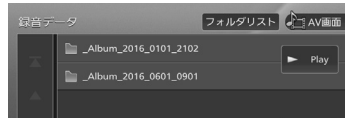
4 [リスト] にタッチする



5 [トップ] にタッチする



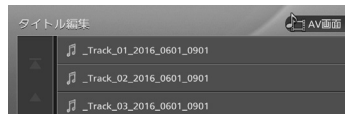
6 アルバムにタッチして編集したい曲が含まれるアルバムを再生する



7 [タイトル編集] にタッチする



8 編集したい曲にタッチする



9 編集したい項目にタッチする



曲名：

文字入力の画面が表示されます。

アルバム名：

文字入力の画面が表示されます。

変更したアルバム名は同一アルバム内の全ての曲に反映されます。

アーティスト名：

文字入力の画面が表示されます。

編集すると確認メッセージが表示されます。

[はい]：

編集したアーティスト名をアルバム内全ての曲に反映します。

[いいえ]：

編集している曲のみに反映されます。

ジャンル：

リストから選択します。

選択すると確認メッセージが表示されます。

[はい]：

選択したジャンルをアルバム内全ての曲に反映します。

[いいえ]：

編集している曲のみに反映されます。

画質を調整する

- 1 調整する映像ソース画面を表示する
- 2 [映像調整] にタッチする
操作ボタンが表示されていないときは、画面にタッチすると表示されます。



- 3 [-] または [+] にタッチして各項目を調整する



コントラスト: コントラストを調整します。

- ・ [+] : コントラストが強くなります。
- ・ [-] : コントラストが弱くなります。

ブライトネス:

明るさを調整します。

- ・ [+] : 明るくなります。
- ・ [-] : 暗くなります。

色の濃さ: 色の濃淡を調整します。

- ・ [+] : 色が濃くなります。
- ・ [-] : 色が淡くなります。

色合い (カメラ / ドライブレコーダー映像のみ):

色合いを [+] / [-] で調整します。

アスペクト

SD/USB :

レギュラー、フル、オリジナル

DVD :

レギュラー、フル、オート



- ・ 地図画面の画質は調整できません。
- ・ [非表示] にタッチすると、操作ボタンを消すことができます。

Bluetooth 機器の登録と設定

本機は、Bluetooth 対応機器 (スマートフォン、携帯電話、オーディオプレーヤーなど) を登録して、ハンズフリー通話や Bluetooth オーディオの再生ができます。



Bluetooth 接続中アイコン



- ・ Bluetooth 機器は 10 台まで登録できます。11 台目を登録しようとする場合、接続頻度の低い機器を削除して登録します。
- ・ Bluetooth の対応プロファイルについては、56 ページをご覧ください。

初めて Bluetooth 機器を登録する

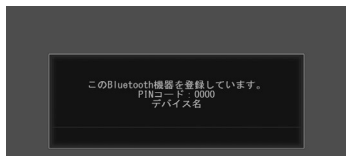
本機で Bluetooth 機器を利用できるように登録 (ペアリング) します。

本機はセキュアシンプルペアリングに対応しています。

- 1 登録する Bluetooth 機器の Bluetooth 機能をオンにする
- 2 Bluetooth 機器で “MDV-D504BTW”、 “MDV-D504BT”、 “MDV-D404BTW”、 または “MDV-D404BT” を選ぶ

Bluetooth 機器により、次のどちらかの画面が表示されます。

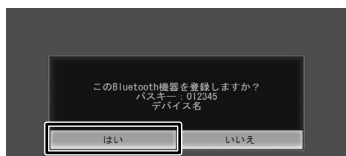
- Bluetooth 機器側で PIN コードの表示または PIN コードの入力画面が表示された場合
表示された本機の PIN コードを Bluetooth 機器に入力する



初期設定は“0000”に設定されています。Bluetooth 機器によっては、PIN コードを入力するときに、この画面が表示されていないことがあります。その場合は、本機の PIN コードを確認してから Bluetooth 機器に入力してください。

- パスキーまたは PIN コードを確認する画面が表示された場合

デバイス名とパスキーを確認し、[はい] にタッチする



Bluetooth 機器の登録がはじまります。Bluetooth 機器によっては、デバイス名またはパスキーのみが表示され、自動的に登録がはじまるものがあります。

登録が完了します。

2 台目以降の Bluetooth 機器を登録する場合は、「2 台目以降の Bluetooth 機器を登録する」(→ P.39) をご覧ください。

ハンズフリーはハンズフリー 1 に接続されています。

PBAP 対応機器は電話帳を登録することができます。(→ P.42)

2 台目以降の Bluetooth 機器を登録する

- 1 「初めて Bluetooth 機器を登録する」(→ P.38) の操作を行う

- 2 ハンズフリーの接続番号を選ぶ



- 3 Bluetooth オーディオ機器 / スマートフォン連携として接続するか選択する



- 4 電話帳を登録するか選択する



- 電話帳登録中に [終了] にタッチすると登録を中断します。
- 電話帳は後からでも登録できます。
- 電話帳は最大 1000 件分 (1 件あたり最大 5 番号まで) の電話番号を本機に登録することができます。
- 電話番号情報のないデータは本機に登録できません。

登録した機器を接続 / 解除する

- 1 フロントパネルの【HOME】を押す
HOME 画面が表示されます。
- 2 【情報・設定】にタッチして【外部機器】
にタッチする
- 3 「Bluetooth」の【デバイス接続】に
タッチする



- 4 接続する Bluetooth 機器にタッチする



- 5 接続方法にタッチする



【ハンズフリー 1】/【ハンズフリー 2】：
ハンズフリー電話を使用します。

【BT Audio/ アプリケーション連携】：
Bluetooth AUDIO 再生と本機対応のスマート
フォン連携アプリケーションを使用します。
接続方法を選択すると機器にアイコンが表示さ
れます。

■ Bluetooth 機器の接続を解除する

- 1 接続を解除する方法にタッチして【閉
じる】にタッチする



- チェックマークがすべて外れていれば、ハンズ
フリー、BT Audio/ アプリケーション連携接
続の両方を解除したことになります。

Bluetooth の設定をする

- 1 【HOME】を押して【情報・設定】にタッ
チして【外部機器】にタッチする
- 2 「Bluetooth」にタッチする



設定できる項目は以下のとおりです。

*：お買い上げ時の設定です。

項目	設定	説明
Bluetooth	ON*/ OFF	Bluetooth 接続するか しないかを設定します。
デバイス接 続	—	本機と Bluetooth 機器 の接続設定をします。
PIN コード	0000*	現在の本機の PIN コー ドが表示されます。ま た、本機の PIN コード を変更します。
ナビのデバイ ス名	MDV-D504BTW MDV-D504BT MDV-D404BTW MDV-D404BT	現在の本機のデバイス 名が表示されます。ま た、本機のデバイス名 を変更します。
ナビのデバイ スアドレス	—	本機のデバイスアドレ スが表示されます。
オートペア リング	ON*/ OFF	オートペアリング機能 を設定します。
着信の自動 応答	OFF*/1 秒 / 5 秒 /10 秒 /15 秒 /30 秒	着信時に、自動的に通 話可能になります。
着信音量	0 ~ 15* ~ 40	着信音量を調整します。
受話音量	0 ~ 15* ~ 40	受話音量を調整します。
案内 / 通話 音量調整	ON*/ OFF	ルート案内中およびハ ンズフリー通話中は、 それぞれの音量を音量 キーで調整することが できます。OFF に設定 するとルート案内中お よびハンズフリー通話 中の調整ができなくな ります。
音質調整	—	通話音質を調整します。

ハンズフリーを使う

本機に登録（ペアリング）した Bluetooth 対応携帯電話またはスマートフォンでハンズフリー通話を行うことができます。

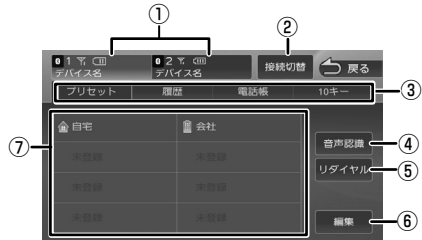
電話画面を表示する

- 1 【HOME】を押して【電話メニュー】にタッチする



電話メニュー画面が表示されます。

電話画面の見かたと操作



- ① **ハンズフリー 1/ ハンズフリー 2**
選択されている方が接続中の機器になります。
 - 接続した Bluetooth 機器の電波受信状態が表示されます。
 - 接続した Bluetooth 機器のバッテリー残量が表示されます。
 - デバイス名が表示されます。
- ② **【接続切替】**
Bluetooth デバイス接続画面を表示します。
- ③ **【プリセット】**
プリセットダイヤルに登録された番号に発信します。
【履歴】
PBAP 対応機器の場合は発信、着信、不在着信履歴を表示します。
【電話帳】
電話帳を表示します。
【10 キー】
電話番号を入力します。
- ④ **【音声認識】**
スマートフォンの音声認識機能を使って電話をかけます。
- ⑤ **【リダイヤル】**
前回発信した電話番号に発信します。
- ⑥ **【編集】**
プリセットダイヤルに電話番号を登録します。
- ⑦ **プリセットダイヤル**
プリセットダイヤルに登録された番号に発信します。



- Bluetooth 機器のバッテリー残量と電波の受信状態は、実際の Bluetooth 機器の表示と一致しない場合があります。
- プリセット、履歴、電話帳などは現在接続している機器が対象です。

PBAP 対応機器の電話帳を登録する

最大 1000 件分 (1 件あたり最大 5 番号まで) の PBAP 対応機器の電話番号を本機に登録することができます。



- 電話番号情報のないデータは本機に登録できません。

1 [電話帳] にタッチする



2 [登録] にタッチする



PBAP 対応機器の場合は電話帳の登録が始まります。機器によってはアクセスを許可する操作が必要な場合があります。アクセス許可の操作を行うと電話帳の登録が始まります。

電話帳を削除する

1 [電話帳] にタッチする



2 [削除] にタッチする



3 削除する登録名にタッチして [削除] にタッチする

複数選択することもできます。



[全て選択] :

リスト内のすべてを選択します。

[全て解除] :

リスト内のすべての選択を解除します。

4 [はい] にタッチする


選択した登録が削除されます。

ハンズフリーで電話を受ける / 切る

電話を着信すると、着信画面が表示されます。

1 にタッチする



 (通話終了) :


着信を拒否します。



[通話切替] (割り込みの通話が発生中に表示) :
通話先を切り替えます。

[音質調整] :
音質を調整します。

[トーン] :
トーンダイヤルをするための 10 キーが
表示されます。

 :
プライベート通話 (携帯電話) とハンズフリー
通話を切り替えます。

[閉じる] :
表示を消します。



[電話] にタッチすると再度表示します。



- ハンズフリー電話の着信音量と受話音量は、AV の音量とそれぞれ独立して調整できます。

2 通話が終わったら、 にタッチする

別売品について

本機対応の別売品は以下になります。

- iPod 接続ケーブルは、29 ページをご覧ください。
- リアビューカメラ
ケンウッド専用マルチビューリアカメラ
CMOS-320
ケンウッド専用スタンダードリアビューカメラ
CMOS-230W/CMOS-230
- ETC 車載器
株式会社デンソー製 ETC 車載器 DIU-5310 (市販品)
付属の接続ケーブル ETC/ ステアリングリモコン接続ケーブル (KNA-300EX 同等品) で接続してください。
車両の対応については、当社ホームページ http://www.kenwood.com/jp/products/car_audio/option/etccable/ をご覧ください。
- ETC2.0 (DSRC) 車載器
パナソニック株式会社製 ETC2.0(DSRC) 車載器 CY-ET2000D (市販品)
接続ケーブル KNA-P12DSRC (別売品)

パナソニック株式会社製 ETC2.0(DSRC) 車載器 CY-DSR140D (市販品)
接続ケーブル KNA-P15DSRC (別売品)

株式会社デンソー製 ETC2.0(DSRC) 車載器 DIU-B040 (市販品)
接続ケーブル KNA-D15DSRC (別売品)

- ドライブレコーダー
DRV-N520
- MDV-D504BTW/MDV-D404BTW のみ
トヨタ車用ワイヤリングキット
KNA-200WT
日産車用ワイヤリングキット
KNA-200WN

ドライブレコーダーを使う

本機対応のドライブレコーダー DRV-N520 (別売品) を接続すると、録画したデータの再生や設定などを本機から操作することができます。操作についてはドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。



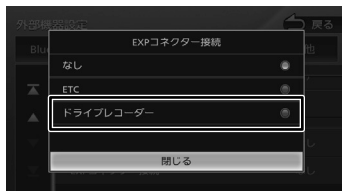
- ・ドライブレコーダー (別売品) を接続したときは、ETC 車載器 (市販品) を接続することはできません。

ドライブレコーダーの接続設定をする

- 1 [HOME] を押して [情報・設定] にタッチする
- 2 [外部機器] にタッチする
- 3 「その他」の [EXP コネクター接続] にタッチする



- 4 [ドライブレコーダー] にタッチする



- 5 本機の電源をオフにしてオンにする

ドライブレコーダーの映像を表示する

本機に接続したドライブレコーダーの映像を表示します。

- 1 [HOME] を押して [ドライブレコーダー] にタッチする



ドライブレコーダーの映像が表示されます。

ETC 車載器を使う

本機は、市販品の株式会社デンソー製 ETC 車載器 DIU-5310 を接続することができます。付属の ETC/ステアリングリモコン接続ケーブル (KNA-300EX) で接続します。本機では、ETC の音声出力、ETC 料金表示の設定ができます。



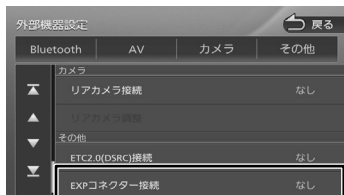
- ・ETC 車載器 (市販品) を本機に接続したときは、ドライブレコーダー (別売品) を接続することはできません。

ETC の接続設定をする

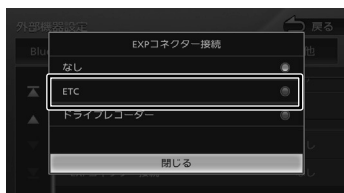
- 1 [HOME] を押して [情報・設定] にタッチする
- 2 [外部機器] にタッチする



3 「その他」の [EXP コネクター接続] にタッチする



4 [ETC] にタッチする



5 本機の電源をオフにしてオンにする

ETC2.0(DSRC) 車載器を使う

接続する機器を設定する

1 [HOME] を押して [情報・設定] にタッチする

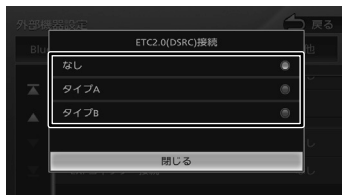
2 [外部機器] にタッチする



3 「その他」の [ETC2.0(DSRC) 接続] にタッチする



4 接続する ETC2.0(DSRC) 車載器にタッチする



[なし]:

ETC2.0 (DSRC) 車載器を接続しません。

[タイプ A]:

- ・ パナソニック株式会社製
ETC2.0(DSRC) 車載器:
CY-ET2000D(市販品)
接続ケーブル:
KNA-P12DSRC (別売品)
- ・ パナソニック株式会社製
ETC2.0 (DSRC) 車載器:
CY-DSR140D(市販品)
接続ケーブル:
KNA-P15DSRC (別売品)

[タイプ B]:

- ・ 株式会社デンソー製
ETC2.0 (DSRC) 車載器:
DIU-B040(市販品)
接続ケーブル:
KNA-D15DSRC (別売品)

5 本機の電源をオフにしてオンにする

リアビューカメラを使う

リアビューカメラ設定

リアビューカメラを接続したときは、設定を行う必要があります。

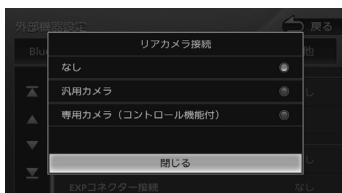


- 本機に接続できるリアビューカメラは別売の CMOS-320、CMOS-230W、CMOS-230 です。

- 1 [HOME]を押して[情報・設定]にタッチして[外部機器]にタッチする
- 2 「カメラ」の[リアカメラ接続]にタッチする



- 3 [汎用カメラ]または[専用カメラ(コントロール機能付)]にタッチする



[汎用カメラ] :

CMOS-230(別売品)、CMOS-230W(別売品)または市販のカメラを接続しているときに選択します。

[専用カメラ(コントロール機能付)] :

CMOS-320(別売品)を接続しているときに選択します。



- [専用カメラ(コントロール機能付)]に設定した場合は、手順2の画面で[リアカメラ調整]にタッチしてカメラの設定を行ってください。
- [汎用カメラ]に設定した場合は、手順2で[リアカメラ調整]にタッチするとガイド線の調整ができるようになります。

リアビューカメラを表示する

- モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対に行わないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度(徐行)でご使用ください。
- リアビューカメラシステムは、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- 画質を調整するときは、必ず安全なところに停車してから操作してください。

- 1 シフトレバーを「R」(リバース)にする



リアビューカメラの映像が表示されます。画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。



[非表示] :

リアビューカメラ操作ボタンを消します。

[映像調整] :

リアビューカメラ映像の画質を調整します。

[ビュー] :

リアビューカメラの視点を切り替えます。(CMOS-320 接続時のみ)

[ガイド線] :

リアビューカメラ映像にガイド線を表示します。もう一度タッチすると、ガイド線が消えます。

[上位置] / [下位置] :

警告文の位置表示を変更します。



- 警告文を下に表示すると、車両の後端が映らなくなり、危険な場合があります。そのような場合は、表示位置を上に変更してください。

地図記号の凡例

画面に表示される地図では、次の地図記号を使用しています。

記号	名称	記号	名称	記号	名称	記号	名称
	信号機		スキー		その他学校		SA
	都道府県庁舎		キャンプ		保健所		PA
	市特別区庁舎		遊園地		税務署		JCT
	町村指定都市区庁舎		動物園		発電所		IC/JCT (併設)
	官庁公共施設		公園		裁判所		IC/SA (併設)
	警察		ホテル		灯台		IC/PA (併設)
	消防		スタジアム		ホール		SA/JCT (併設)
	学校		スポーツ施設		スマートIC		PA/JCT (併設)
	郵便局		植物園		その他の目的物		料金所
	病院		美術館		NTT		スマートIC
	デパート/スーパー		博物館		サッカー		ガソリンスタンド
	カー用品店		水族館		テニスコート		レストラン
	IC		図書館		ディスカウントストア		スナック
	SA		テーマパーク		ビルアパート名称		ショッピング
	PA		城・天守閣		道の駅		ハイウェイオアシス
	パーキング		展望タワー		ヘリポート		インフォメーション
	工場		温泉		乗馬		休憩所
	飛行場		山頂		体育館		ハイウェイ情報ターミナル
	フェリー		自衛隊		牧場		ベビーコーナー
	港		墓地		ホール		ドッグラン
	料金所		ボウリング場		自動車学校		障害者用トイレ
	マリーナ		サッカー		トンネル		ATM
	史跡名勝		競馬場ウインズ		船着場(観光船等)		トイレ
	城跡		大学		野球場		
	神社		短大		展望台		
	寺院		高専				
	教会		高校				
	海水浴場		中学校		サービスエリア (SA) パーキングエリア (PA)		
	ゴルフ場		小学校		IC		
					スマートIC		



- 表示されるマークの位置は、実際と異なることがあります。また、複数の施設を代表して1つのマークで表示されることもあります。

メディアおよびファイルについて

ご使用上の注意事項

- USB 機器や SD カードは、車内に放置しないでください。直射日光や高温で、変形や故障の原因になります。
- 本機で再生するオーディオ / ビデオファイルは、必ずバックアップを作成しておいてください。予期せぬ事態で、ファイルが破壊される場合があります。
- 本機で再生できるオーディオ / ビデオファイルの詳細は <http://manual.kenwood.com/edition/2017ld/mdv.html> の「取扱説明書<詳細版>」をご覧ください。

本機で再生できるディスクメディア

● ディスク再生対応一覧表

分類	規格	対応	説明
DVD	DVD ビデオ	○	—
	DVD オーディオ	×	—
	DVD-R	○	VR モード対応 (DVD-R/RW のみ) CPRM 対応
	DVD-RW	○	
	DVD+R	○	
	DVD+RW	○	
	DVD+R DL (2層)	○	
DVD-R DL (2層)	○		
DVD-RAM	×	—	
CD	音楽 CD	○	8cm ディスク非対応
	CD-ROM	○	—
	CD-R	○	パッケージライト非対応
	CD-RW	○	
	DTS-CD	×	—
	ビデオ CD、スーパービデオ CD	×	—
	フォト CD	×	—
	HDCD	△	通常の音楽 CD の音質
CCCD	×	—	
その他	デュアルディスク	×	—
	スーパーオーディオ CD	△	CD 層のみ再生可能

○：再生できます △：一部のみ再生できます

×：再生できません

再生できるディスクフォーマット

ISO 9660/Joliet/UDF

使用できないディスク

以下のディスクは使用しないでください。



- 記録面（レーベル面の反対側）が着色や汚れがあるディスク。引き込まれない、取り出せないなどの誤動作の原因になります。記録面には触れないようにお取り扱いください。
- ファイナライズ処理を行っていない CD-R/RW および DVD-R/RW は再生できません（ファイナライズ処理については、お使いのライティングソフトやレコーダーのマニュアルをご覧ください）。そのほかにも、記録状態によっては再生できない場合があります。
- 汚れ、傷、ゴミのついたディスク、反りのあるディスク。音飛びなどの誤動作や音質劣化の原因になることがあります。
- 表面に紙テープなどが貼られたディスク、ラベルのノリがはみ出したディスク。ディスクが取り出せなくなったり、本機が故障することがあります。

ディスクのご使用上の注意

- ディスクが汚れたときは、従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。
- 新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールおよび外周部に“バリ”がないことを確認してください。“バリ”がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音飛びの原因になります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。
- 音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は使用しないでください。故障の原因となります。
- 8cmCD、8cmCD アダプターは使用できません。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

DVDのリージョン番号

本機で再生できるDVDリージョン番号(国ごとに割り当てられた番号)は「2」(または2を含むもの)と「ALL」です。

DVDディスクに表示されているリージョン番号が本機と一致しないと、本機では再生できません。

本機で再生できるSDカード

規格	SD/SDHC/SDXC*1
最大容量	2GB(SD)/32GB(SDHC)/2TB(SDXC)
ファイルシステム	FAT16/FAT32/exFAT*2

*1: MMC(MultimediaCard)には対応していません。

*2: この他のファイルシステム(NTFS等)には対応していません。

- SDスピードクラスはClass10まで対応しています。

SDカード使用上のご注意

- miniSDカード、microSDカードはSDカードアダプターを使用することで使用可能ですがすべてのカードの動作保証はしていません。
- ご使用の際には、必ずSDカードに付属している取扱説明書も合わせてご確認ください。
- 本機で使用出来ない場合は、ファイルシステムがFAT16、FAT32またはexFATであることを確認してください。ファイルシステムが異なる場合は、再フォーマットしてから使用してください。
- 本機はSD-Audioには対応していません。
- 全てのSDカードに対して、動作を保証するものではありません。
- SDカードの種類や、記録状態によっては、正常に再生できない場合があります。
- SDカード内のデータは必ずバックアップをしてください。SDカードの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

本機で再生できるUSB機器

規格	USB1.1/2.0*1
デバイスクラス	マストレージクラス(MSC device)*2
最大消費電流	1A以下(USB接続時)
ファイルシステム	FAT16/FAT32/NTFS/exFAT*3

*1: USB3.0には対応していません。

*2: 使用するUSBデバイスがUSBマストレージクラスに対応しているかは、USBデバイスの販売メーカーにお問い合わせください。

*3: この他のファイルシステムには対応していません。

USB機器使用上のご注意

- 接続したUSBデバイスは運転の支障とならないように設置してください。
- USBハブを介してUSB機器を接続しないでください。
- マルチカードリーダーを使用する場合は、複数のメモリーカードを挿さないでください。
- セキュリティ機能付きのUSBデバイスは使用できません。
- USB規格外のケーブルは動作保証できません。また、延長ケーブルの使用により正常に再生できない場合があります。
- USBデバイスの種類や、記録状態によっては、正常に再生できない場合があります。
- 全てのUSBデバイスに対して、動作や電源供給を保証するものではありません。
- USBデバイスのデータは必ずバックアップをしてください。USBデバイスの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

本機で再生できるオーディオ/ビデオフォーマット

メディア		コーデック			
		CD	DVD	USB	SD
オーディオファイル	MP3	○	○	○	○
	WMA	○	○	○	○
	AAC	○	○	○	○
	WAV	○	○	○	○
	FLAC	○	○	○	○
	Vorbis	○	○	○	○
ビデオファイル	MPEG-4 Video	×	×	○	○
	H.264/MPEG-4 AVC	×	×	○	○
	WMV	×	×	○	○

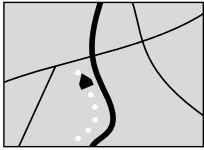
○: 再生できます ×: 再生できません。

自車位置の測位精度について

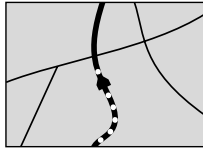
マップマッチング機能について

マップマッチングとは、道路から外れた自車の位置を、論理的に地図画面の道路に合わせる機能のことです。

GPS や自律航法による測位には誤差が生じることがあり、現在地を道路以外の場所（川や海の上など）に表示してしまうことがあります。このような場合に、「車が海や川の上を走るはずがない」という論理的判断に基づき、現在地近くの道路上に自動修正します。



マップマッチングしていない場合



マップマッチングしている場合

本機は、GPS と自律航法を併用して精度の高い測位を行った上でマップマッチング機能が動作するため、より正確な現在地を表示することができず。

内蔵センサーによる測位とは

内蔵の車速パルスとジャイロセンサーを使って測位します。走った距離を車速パルスで、曲がった方向をジャイロセンサーで検出して現在地を割り出します。

3D センサーについて (MDV-D504BTW/MDV-D504BTのみ)

内蔵の3D センサーによって、道路傾斜や自車の高さの変化を測定しています。これにより、ランプ等で道路が上下に分離したときに、地図データの高さ情報をもとに、どちらにいるかを判定します。

高さ情報があるのは、高速道路 / 国道 / 県道などの全国主要道です。高さ情報がないところでは、判定されません。高さ情報があるところでも、道路形状や走行状況によっては、正しく判定できないことがあります。

誤差について

本機は、GPS と自律航法を併用した精度の高い測位に加えて、さらにマップマッチング機能を動作させて誤差を最小限にしております。しかし、さまざまな条件や状況によって、これらの機能が正しく動作せず、誤差が大きくなることもあります。

■ GPS 測位不能によって生じる誤差について

- 1) 次のような場所にいるときは、GPS 衛星の電波が遮断されて電波を受信できないため、GPS による測位ができなくなります。
 - トンネルの中やビル内の駐車場
 - 2 層構造の高速道路の下
 - 高層ビルの群衆地帯
 - 密集した樹木の間
- 2) GPS アンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている場合、電波障害の影響で一時的に GPS 衛星からの電波を受信できなくなるため、GPS による測位ができなくなります。
- 3) 3 基以下の GPS 衛星の電波しか受信できない場合は、GPS による測位はできません。

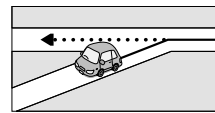
GPS 衛星自体の原因により生じる誤差について

- 1) 電波を受信している GPS 衛星の配置が悪いとき（衛星が同じような方向や同じような高さにあるとき）には、十分な精度が得られないことがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
- 2) GPS 衛星による測位では、高さ方向の精度は、水平方向と比べると誤差がやや大きくなります。自車の高さよりも上にある衛星の電波は受信できますが、下（地球の裏側）に位置している衛星の電波は物理的に受信できないため、高さに関して十分な比較ができません。

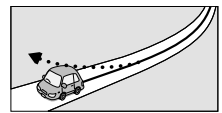
その他の誤差について

以下に示す状況の場合も、測位の誤差が大きくなります。

角度の小さい Y 字路を走行した場合



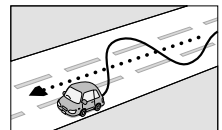
直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後



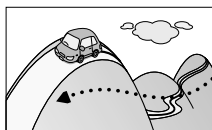
砂利道や雪道などで、タイヤがスリップした場合



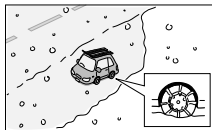
蛇行運転をした場合



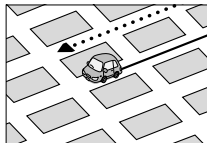
勾配の急な山道や、高低差のある道路を走行した場合



チェーンを装着したときや、タイヤを交換した場合

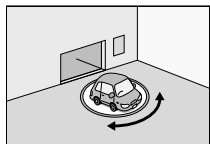


碁盤の目状の道路を走行した場合

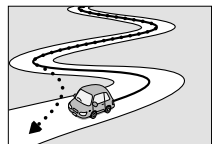


- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合
- エンジンをかけてすぐに走行し始めた場合
- 地図と実際の道路形状が異なる場合

駐車場などのターンテーブルで旋回した場合



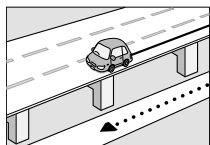
ヘアピンカーブが続いた場合



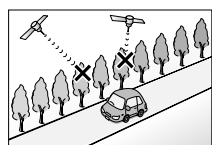
低速時の測位精度について

車種によっては、時速数 km 程度の低速時に、車速パルス信号が出力されないものもあります。そのような車種では、渋滞中や駐車場などで時速数 km 程度の低速走行が続くと、自車位置が正確に表示されない場合があります。

高速道路と側道などが併走している場合



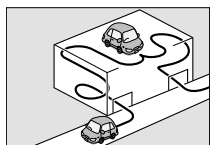
GPSによる測位ができない状態が長く続いた場合



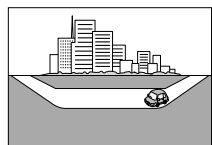
地図の道路データについて

地図画面に道路が表示されていても、その道路をルート探索できない場合があります。そのような道路にはマップマッチングもできない場合があります。

立体駐車場などで、旋回や切り返しを繰り返した場合



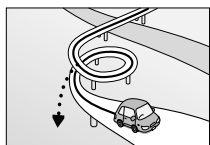
地下駐車場やトンネルなどで、GPS衛星による測位が長時間できない場合



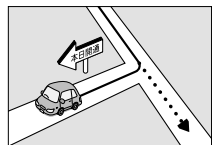
準天頂衛星について

従来のGPS衛星からの信号に加え、準天頂衛星からの信号を受信することで、山間部やビル街でも測位精度を向上することができます。(準天頂衛星初号機「みちびき」が稼働中です。現時点では、受信できる時間帯に制限があります。また、季節によって時間帯は異なります。)

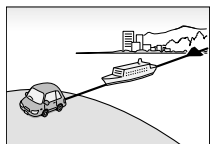
ループ橋などを走行した場合



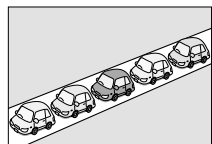
地図データにはない、新設道路を走行した場合



フェリーや車両運搬車などで移動した場合



渋滞などで、低速で発進や停車を繰り返した場合



ソフトウェア使用許諾契約書

【本製品をご使用前に必ずお読みください】

このナビゲーション製品本体（以下、「本システム」）および同梱品（併せて、以下、「本製品」）には、株式会社 JVC ケンウッド（以下、「ライセンサー」）のソフトウェア、および / または複数のソフトウェアライセンサー（以下、「ソフトウェア供給者」）から当社に対して許諾されたソフトウェア（併せて、以下、「許諾ソフトウェア」）が含まれています。許諾ソフトウェアは、ソフトウェアに関連する書類、マニュアルその他の印刷物を含みます。書類および印刷物は、オンラインまたは電子媒体で供給するものを含みます。

お客様（以下、「使用者」）は本件使用許諾契約書の内容にご同意のうえ、本製品をご使用いただくものと致します。

使用者が本製品をご使用された時点で本契約が成立したものと見なされます。

なお、許諾ソフトウェアにはライセンサーが第三者より直接的にまたは間接的に使用の許諾を受けたソフトウェアが含まれている場合があります。その場合には一部の第三者は本ソフトウェア使用許諾契約書とは別にお客様に対して使用条件を定めております。かかるソフトウェアについては本契約書は適用されませんので別途提示させていただき「ソフトウェアに関する重要なお知らせ」を必ずご覧ください。

【使用許諾契約書】

第 1 条（総則）

ライセンサーは、許諾ソフトウェアの国内における非独占的かつ第 3 条第 1 項に定める例外を除き譲渡不能な使用権を使用者に許諾します。

第 2 条（使用権）

1. 本契約によって生ずる使用権とは、許諾ソフトウェアを本製品を使用する権利をいいます。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアの一部もしくは全部を複製、複写もしくは修正、追加等の変更をすることができません。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、許諾ソフトウェアは営利目的を含めたとに関わらず、いかなる目的でも頒布することができません。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書またはヘルプファイルに記載の使用方法に沿って使用するものとし、許諾ソフトウェアの全部または一部を用いて著作権法等の法規に違反するデータの使用、複製を行ってはならないものとします。また、指定 PC へのネットワーク接続を用いて、使用者以外の第三者にこれを使用させることは許されていません。

第 3 条（許諾条件）

1. 使用者は、本製品を譲渡する場合、内在する許諾ソフトウェア（その関連資料、アップデート版、アップグレード版を含む）の使用権については、自らの手元にオリジナル及び一切の複製物、関連資料を残さない事、又譲受人を本ソフトウェア使用許諾契約に従わせる事を条件に、移転できるものとします。
2. 使用者は許諾ソフトウェアに関し、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。

第 4 条（許諾ソフトウェアの権利）

許諾ソフトウェア及びその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ライセンサーまたはライセンサーに許諾ソフトウェアの使用、再許諾を許諾した原権利者（以下、原権利者）に帰属するものとし、使用者は許諾ソフトウェア及びその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

第 5 条（ライセンサーの免責）

1. ライセンサー及び原権利者は、使用者が本契約に基づき許諾された使用権を行使することにより生じた使用者もしくは第三者の損害に関していかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。
2. ライセンサーは「許諾ソフトウェア」について商品性、互換性及び特定目的に合致していることを保証致しません。

第 6 条（第三者に対する責任）

使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ライセンサー及び原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第 7 条（秘密保持）

使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報及び本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ライセンサーの承諾を得ることなく第三者に開示または漏洩しないものとします。

第 8 条（契約の解除）

ライセンサーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、またはそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。

- (1) 本契約に定める条項に違反したとき
- (2) 差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第9条（許諾ソフトウェアの廃棄）

前条の規定により本契約が終了した場合、使用者は契約の終了した日から2週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類及びその複製物を廃棄するものとします。

第10条（著作権保護）

1. 許諾ソフトウェアに関する著作権及びその他一切の知的財産権は、ライセンサー及び現権利者に帰属するものでありいかなる権利も使用者が有するものではありません。
2. 使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作権法及びその関連の法律に従うものとします。

第11条（輸出規制）

1. 許諾ソフトウェアを日本国外に輸出すること（インターネット等を利用した国外送信を含みます）はできないものといたします。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアが日本国およびアメリカ合衆国の輸出に関する規制の対象となることを了承するものとします。
3. 使用者は、許諾ソフトウェアに適用される一切の国際法および国内法（アメリカ合衆国の輸出管理規則、アメリカ合衆国、日本国及びその他の政府機関が定めるエンドユーザー、エンドユーザーによる使用及び輸出対象国に関する規制を含みます）に従うことに同意するものとします。

第12条（その他）

1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2. 本契約に定めなき条項もしくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ライセンサー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。
3. ライセンサー及び使用者は、本契約が日本国の法律に準拠し、本契約から生ずる権利義務に関する紛争については、東京地方裁判所をもって第一審の専属管轄裁判所とする事に合意するものとします。
4. 本契約書の各条項は、代わりの契約書が提供されない限り、許諾ソフトウェアのバージョンアップ後のソフトウェアにも適用されるものとします。

以上

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

本製品のソフトウェアライセンスについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに株式会社 JVC ケンウッドまたは第三者の著作権が存在します。

本製品は、株式会社 JVC ケンウッド及び第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメント（以下、「EULA」といいます）に基づくソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、フリーソフトウェアに該当するものがあり、GNU General Public License または Lesser General Public License（以下、「GPL/LGPL」といいます）のライセンスに基づき実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするように求めています。

当該「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページをご覧ください。

ホームページアドレス

<http://www2.jvckenwood.com/gpl/j.html>

なお、ソースコードの内容等についてのご質問はお客様へお答えしかねますので、予め御了承ください。

「GPL/LGPL」の適用を受けない「EULA」に基づくソフトウェアコンポーネント及び株式会社 JVC ケンウッド自身が開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

「GPL/LGPL」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は、明示かつ黙示であるかを問わず一切ありません。

適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「GPL/LGPL」をお読みください。

本製品に組み込まれた「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用頂く場合は、対応するライセンスをよく読んでから、ご利用くださるようお願い致します。なお各ライセンスは株式会社 JVC ケンウッド以外の第三者による規定のため、原文（英文）を本製品に掲載します。

掲載場所は「情報・設定」－[システム]－[特別]の[オープンソースライセンス]です。

VICS について

VICS サービスの問い合わせ

VICS サービスに関するお問い合わせについては、内容によって次の問い合わせ先にご連絡ください。

- VICS 関連商品、VICS 情報の受信エリアや内容の概略、地図表示の内容に関することはお買い上げの販売会社へお問い合わせください。
- VICS の概念、計画、または表示された情報内容に関することは VICS センターへお問い合わせください。(ただし、地図表示の表示内容は除く)

<問い合わせ先>

VICS センター

電話番号

0570-00-8831

※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

※ PHS、IP 電話等からはご利用できません。

電話受付時間

9:30 ~ 17:45

(但し土曜、日曜、祝日、年末年始休暇を除く)

FAX 受付時間 24 時間

FAX 番号 (全国) 03-3562-1719

- VICS の最新情報について

VICS の最新情報や FM 多重放送局の周波数の情報などは、下記ホームページをご覧ください。

インターネット URL <http://www.vics.or.jp/>

VICS リンクの更新について

VICS センターでは、レベル 3 の情報の収集と提供に、VICS リンク (主要交差点毎に道路を区切った単位) というデータ方式を採用しています。道路の新設や改築、信号機の設置等により道路交通状況が変化する場合は、VICS リンクの追加や変更を行って、適切な情報を提供できるようにしています。

この結果、新しい VICS リンクによる情報の提供が行われると、変更前の VICS リンクでは情報が提供されなくなります。ただしユーザに対する情報提供サービスを維持するため、変更前の VICS リンクに対しても変更後 3 年間は、従来通り情報を提供する仕組みになっています。



- VICS リンクの更新は、地図データの更新が必要です。地図更新については JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第 1 章 総則

(約款の適用)

第 1 条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター (以下「当センター」といいます。) は、放送法 (昭和 25 年法律第 132 号) 第 147 条の規定に基づき、この VICS 情報有料放送サービス契約約款 (以下「この約款」といいます。) を定め、これにより VICS 情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第 2 条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第 3 条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

(1) VICS サービス

当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

(2) VICS サービス契約

当センターから VICS サービスの提供を受けるための契約

(3) 加入者

当センターと VICS サービス契約を締結した者

(4) VICS デスクランブラー

FM 多重放送局からのスクランブル化 (攪乱) された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第 2 章 サービスの種類等

(VICS サービスの種類)

第 4 条 VICS サービスには、次の種類があります。

(1) 文字表示型サービス

文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

(2) 簡易図形表示型サービス

簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

(3) 地図重畳型サービス

車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICS サービスの提供時間)

第 5 条 当センターは、原則として一週間に概ね 120 時間以上の VICS サービスを提供します。

第 3 章 契約

(契約の単位)

第 6 条 当センターは、VICS デスクランブラー 1 台毎に 1 の VICS サービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第 7 条 VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域 (全都道府県の区域で概ね NHK-FM 放送を受信することができる範囲内) とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条 1. 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。
但し、当センターは、当該変更においても変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。
2. VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表]

視聴料金 300円(税抜き)

ただし、車載機購入価格に含まれております。

第8条 VICSサービスは、VICS対応FM受信機(VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機)を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICSサービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 1. 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。
2. 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。
なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条 1. 当センターは、放送設備の保守上又は工用上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。
2. 当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。
ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

- ・ 本機器で提供している道路交通情報データは、公益財団法人日本道路交通情報センターから提供されます。また、データ作成には一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(VICSセンター)の技術が用いられています。

地図のデータベース について

本製品の地図の作成にあたって使用しているデータベースの詳細については、<http://manual.kenwood.com/edition/2017ld/mdv.html> の「取扱説明書<詳細版>」をご覧ください。

■注意事項

- データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なることがありますのでご了承ください。
- いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
- この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車等の規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。
- 収録するデータは、その正確性を保証するものではありません。データ内容の誤りに対して、取り替え、代金の返却はいたしかねます。
- 本データを使用したことによって生じたお客様および第三者のいかなる損害についても、当社は一切その責任を負いかねます。

iPod について

本機でコントロールできる iPod について

本機からコントロールできる iPod は以下のとおりです。

Made for

- iPod nano (7th generation)
- iPod touch (6th generation)
- iPod touch (5th generation)
- iPhone 6s
- iPhone 6s Plus
- iPhone 6
- iPhone 6 Plus
- iPhone 5s
- iPhone 5c
- iPhone 5
- iPhone 4s

- 本書では上記 iPod および iPhone をまとめて「iPod」と呼びます。
- 本機に表示できる文字の種類は、半角英数字、半角カタカナ、および全角文字です。ただし、正しく表示できない文字もあります。

Bluetooth について

Bluetooth 対応プロファイル

本機は、以下のプロファイルに対応しています。

- HFP (ハンズフリープロファイル)
ハンズフリー通話するためのプロファイルです。
- PBAP (フォンブックアクセスプロファイル)
電話帳のデータを vCard 形式で伝送するプロファイルです。
- A2DP* (高度オーディオ配信プロファイル)
オーディオプレーヤーの音楽を伝送するためのプロファイルです。
- AVRCP (オーディオ/ビデオリモート制御プロファイル)
オーディオプレーヤーの再生や選曲などをコントロールするためのプロファイルです。
- SPP (シリアルポートプロファイル)
Bluetooth 機器を仮想シリアルポート化するプロファイルです。

Bluetooth 標準規格 Ver.3.0 準拠

* SCMS-T 対応

(SCMS-T とは A2DP に対応したオーディオプレーヤーなどでセキュリティがかかったコンテンツを聴くことができる機能です。)



- 動作を確認した携帯電話機については以下の URL をご覧ください。
<http://www2.jvckenwood.com/cs/ce/bt/index.php?lang=japanese>
- Bluetooth 機能搭載機器は、Bluetooth SIG が定めている方法で Bluetooth 標準規格に適合していることの認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては通信できない場合があります。

対応コーデック

SBC/AAC

故障かなと思ったら

次の一覧から該当する症状を見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

● 共通

症状	考えられる原因	対処方法
電源がオンにならない。	ヒューズが切れている。	コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
	電源コードなどの接続が間違っている。	お買い上げの販売店で接続を確認してください。
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
画面が暗い。	モニターの温度が低い。	液晶パネルの特性上、モニターの温度が下がっているときは、電源をオンにしたときに、通常より暗い場合があります。電源をオンにして温度が上がるまでしばらくお待ちください。通常の明るさに戻ります。
	画質設定の明るさが低い。	画質設定の明るさを調整してください。
画面が見にくい。	見る角度によってコントラスト、明るさが変わります。	コントラスト、明るさ、視野角を調整してください。
映像の色調がおかしい。	—	画質を調整してください。
リアビューカメラに切り替わらない。	リアビューカメラが正しく接続されていない。	取付説明書を参照して、正しく接続してください。
	リアカメラ接続設定が“なし”になっている。	接続しているカメラを確認してリアカメラ接続設定を行ってください。(→ P.46)
音が出ない / 音が小さい。	バランス、フェーダーが片方に寄っている。	バランスやフェーダーを正しく調整してください。(→ P.25)
音質が悪い (音がひずむ)。	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。
	スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。	スピーカーの配線を確認してください。
	スピーカーの配線が間違っている。	スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。
案内音声が出力されない	フロントスピーカーに接続していない。	案内音声とハンズフリーの音声出力はフロントスピーカーのみです。スピーカーの接続を確認してください。
ハンズフリーの音声が出力されない。		

メッセージ

次のメッセージが表示された場合は、一覧に従って対処してください。

● 共通

メッセージ	対処
システムの起動ができませんでした。 カスタマーサポートセンターにお問い合わせ 주세요。	JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
暗証番号が違います。 もう一度入力してください。	正しい暗証番号を入力してください。暗証番号を思い出せない場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
スピーカー配線に異常があります。 接続を確認してください。	取付説明書を参照して、スピーカー接続を確認してください。
スピーカー配線に異常があります。 接続を確認してください。問題が解消されない場合はカスタマーサポートセンター にお問い合わせ주세요。	スピーカーコードがショートまたは車両のシャーシに接触したため保護回路が働いた可能性があります。取付説明書を参照して、スピーカー接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
地デジアンテナに異常があります。 接続を確認してください。	アンテナケーブルの配線がショートしています。配線を確認してください。
ワンセグアンテナに異常があります。 接続を確認してください。	アンテナケーブルの配線がショートしています。配線を確認してください。
GPS アンテナに異常があります。 接続を確認してください。	取付説明書を参照して、正しく接続してください。
車速パルスが検出できません。 車速検出コード (桃) の接続先及び接続状態を確認してください。	取付説明書を参照して、車速検出コードの接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
ステアリングリモコンキーの 学習ができませんでした。	取付説明書を参照して、ステアリングリモコンの接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
SD カードのフォーマットができませんでした。	SD カードが正しく入っているかを確認してください。他の SD カードを使用しても問題が解決されない場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

● ナビ

メッセージ	対処
ルートを探索できませんでした。	<ul style="list-style-type: none">● ルート案内できない地点を「目的地」「経由地」にしています。● 探索条件を「一般」以外にしてください。

● VICS

メッセージ	対処
電波が弱いかわ周波数が違うため、 VICS 情報を受信できません。	受信周波数を切り替えてください。または VICS 放送が受信できるところに移動し、受信するまでしばらくお待ちください。

● ETC

メッセージ	対処
ETC に異常が発生しました。 販売店にお問い合わせ주세요。(04)	お買い上げの販売店にご相談ください。
ETC 車載器との接続を確認してください。	接続が正しいことを確認しても、問題が解決されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

メッセージ	対処
ETC カードが挿入されていません。 ETC カードが挿入されていません。(01)	ETC カードを差し込みなおしてください。
ETC カードが読めません。 ETC カードが読めません。(02)、(03)、 (05)	<ul style="list-style-type: none"> ● 差し込まれたカードが ETC カードかどうか確認してください。 ● カードが正しい向きで差し込まれているか確認してください。 ● カードの金属端子面をきれいにふいてから差し込んでください。 問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
ETC がセットアップされていません。	お買い上げの販売店にご相談ください。
ETC をご利用できません。 ETC をご利用できません。(06)、(07)	ETC カードを差し込みなおしてください。または料金所の係員の指示に従ってください。
中断しました。	故障ではありませんのでもう一度操作してください。

● カメラ

メッセージ	対処
専用カメラと通信できません。 接続を確認してください。	取付説明書を参照して、専用カメラとの接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
走行中は調整できません。	リアビューカメラのガイド線調整、および専用カメラのカメラ設定は、安全なところに停車した状態で行ってください。

● AV (共通)

メッセージ	対処
再生可能なファイルがありません。	再生対応しているオーディオ / ビデオファイルかどうかを確認してください。
走行中は音声のみお楽しみください。	走行中は映像を見ることができません。
音声が再生できません。	音声が再生できないビデオファイルです。
ファイルが再生できません。	再生できないファイルです。再生可能な次のファイルへスキップします。

● AV(Disc)

メッセージ	対処
ディスクが読めません。	読み込み不可のディスクを再生しようとしています。再生可能なディスクを挿入してください。
再生できないリージョンコードのディスクです。	ディスクのリージョンコードを確認してください。リージョンコード「2」(または 2 を含むもの) と「ALL」のディスクが再生できます。
ディスクがローディングできません。 / ディスクがイジェクトできません。	強制イジェクト(フロントパネルの【▲】(オープンキー)をメッセージが表示するまで押して【はい】にタッチする。)を実行してください。または、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
録音可能なアルバム数の上限を超えています。	録音できるアルバムは最大 999 枚までです。不要なアルバムを削除してから録音してください。
録音を続行できないため、録音を中断しました。	再度録音しなおしてください。
空き容量不足のため、これ以上録音できません。	不要なファイルを削除するか、空き容量の大きい SD カードを使用してください。

● Bluetooth

メッセージ	対処
空き容量不足のため、 これ以上登録できません。	本機に登録できる電話帳は 1000 件（1 件最大 5 番号まで）ま でです。不要な電話帳の登録を削除してください。

商標

「タウンページ」は、NTT 東日本および NTT 西日本の登録商標です。

「Microsoft」、「Windows」、「Windows NT」、「Windows Media」は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国や地域における登録商標または商標です。

Manufactured under license from Dolby Laboratories.
Dolby and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories.

The "AAC" logo is a trademark of Dolby Laboratories.

DVD is a trademark of DVD format/Logo Licensing Corporation registered in the U. S. Japan and other countries.

"Made for iPod" and "Made for iPhone" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod, or iPhone may affect wireless performance.

iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. Lightning are trademarks of Apple Inc. The trademark "iPhone" is used with a license from Aiphone K.K.

iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。



© 2016 Rovi Corporation.
Content and technology provided by Rovi Corporation.

This item incorporates copy protection technology that is protected by U.S. patents and other intellectual property rights of Rovi Corporation. Reverse engineering and disassembly are prohibited.

This software is based in part on the work of the independent JPEG Group.
本機搭載のソフトウェアは、independent JPEG Group のソフトウェアを一部利用しております。

SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。

まっぶるコードは株式会社昭文社の登録商標または商標です。

MapFan はインクリメント・ピー株式会社の登録商標です。

Bluetooth® とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC の登録商標で、株式会社 JVC ケンウッドはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。

VICS, VICS WIDE は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。

QR コードは (株) デンソーウェアの登録商標です。

「NaviCon」は株式会社デンソーの登録商標です。

「マップクリップ」はインクリメント・ピー株式会社の登録商標です。

「Android™」 および 「Android ロゴ™」、 「Google Play™」は Google Inc. の商標または登録商標です。

本製品には、株式会社ユビキタスが開発した高速起動ソリューション「Ubiquitous QuickBoot™」を搭載しております。「Ubiquitous QuickBoot™」は、株式会社ユビキタスの商標です。
Copyright© 2015 Ubiquitous Corp. All rights reserved.



本製品には、日本電気株式会社のフォント「FontAvenue」を使用しています。



本ソフトウェアは、株式会社日立製作所の音声合成技術を使用しています。「Ruby Talk」は株式会社日立超 LSI システムズの登録商標です。

Ruby Talk®



「ETC」、「ETC2.0」、「DSRC」は一般社団法人 ITS サービス高度化機構の登録商標です。

ITS スポットは国土交通省の登録商標です。

日本語変換は、オムロンソフトウェア (株) の compact Wnn を使用しています。
compact Wnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd.
2012-2016 All Rights Reserved.

libFLAC

Copyright (C) 2000-2009 Josh Coalson
Copyright (C) 2011-2013 Xiph.Org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND ONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii)DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.MPEGLA.COM)

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODE MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.MPEGLA.COM)

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE VC-1 PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE VC-1 STANDARD ("VC-1 VIDEO") AND/OR (ii) DECODE VC-1 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE VC-1 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.MPEGLA.COM)

libogg

Copyright (c) 2002, Xiph.org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

JSON-C
Copyright (c) 2004, 2005 Metaparadigm Pte Ltd

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

libvorbis

Copyright (c) 2002-2008 Xiph.org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Rovi Flow-Down License Terms (Terms of Use) エンドユーザー・ライセンス契約

すべてのエンドユーザー・ライセンスには、以下の条項が含まれるものとする：

- (1) エンドユーザーは、エンドユーザーの個人的な使用の場合に限り、ライセンス対象物の使用について、個人的な、譲渡不可の非独占的な権利のみを付与される。
- (2) 顧客及び／又はそのライセンサーは、ライセンス対象物についてのすべての知的財産権を留保し、当該知的財産に係るいかなる権原も、エンドユーザーには移転されないものとする。
- (3) エンドユーザーは、以下のことに同意する：
 - (i) ライセンス対象物を、いかなる第三者に対しても、譲渡、複製、移転又は送付しないこと；
 - (ii) 本契約書に明示的に許可されている場合を除き、ライセンス対象物を使用又は利用しないこと；
 - (iii) ライセンス対象物又はそれを構成するいかなる部分についても、逆コンパイル、逆アセンブル又はリバース・エンジニアリングをしないこと；
 - (iv) ライセンス対象物が内包する、いかなる著作権、商標、商品名、ロゴ又はその他の知的財産に係る表示も取り除かないこと；又は
 - (v) 本契約の条項中に明示的に示されていない限り、ライセンス対象物又はそのいかなる部分についても、販売、頒布、配給、公開、開示、リース、ライセンス、移転又はその他の方法での使用をしないこと。
- (4) エンドユーザーは、米国商務省又はその他の米国の政府機関若しくはは行政機関の、輸出及び再輸出に係るすべての制限及び規則を遵守し、ライセンス対象物を、制限国に転送若しくは転送の許可、又は当該制限又は規則に違反するいかなる行為も行わないことに同意する。
- (5) エンドユーザーは、エンドユーザーが当該制限に違反した場合は、本契約により付与された、ライセンス対象物を使用するライセンスを解除されることに同意する。さらに、顧客及び／又はそのライセンサーは、その裁量により、いつでもライセンスを取り消し又は解除することができる。エンドユーザーのライセンスが解除された場合は、エンドユーザーは、ライセンス対象物の一切の使用をやめることに同意する。エンドユーザーは、エンドユーザーによる本契約の不履行に起因する弁護士報酬を含め、一切の責務、請求及び支出から、顧客、そのライセンサー、それらの関係者を防禦し、補償し、損害を与えないようすることに同意する。
- (6) ライセンス対象物及び文書（存在すれば）は、「商業用コンピューターソフトウェア」及び「商業用コンピューターソフトウェア文書」とみなされ、それぞれ、DFAR 第 227.7202 項及び FAR 第 12.212 が適用される。米国政府による、ライセンス対象物（存在すれば、文書について）の使用、複製又は開示は、顧客の書面による契約がない場合は禁止される。
- (7) 顧客のライセンサーは、本契約の第三者受益者である。
- (8) ライセンス対象物及びその構成部分は、「現状有姿」で提供される。ロヴィは、明示的か黙示的かを問わず、ライセンス対象物のソフトウェアの正確性に関し、商品性、特定用途への適合性、権原及び非侵害についての黙示的保証を含むがこれに限定されない、表明又は保証を一切行わないものとする。顧客及び／又はそのライセンサーは、正確性、精密度、信頼度、最新性又はエンドユーザーが、ライセンス対象物を使用して得られた結果についての保証又はいかなる表明も行うものではない。
- (9) いかなる場合においても、顧客又はそのライセンサーは、エンドユーザー又はいかなる第三者に対しても、ライセンス対象物のソフトウェアの使用に起因する又はその使用に関連する、契約、不法行為、過失、損害賠償、厳格責任、製造物責任又はその他を含む、いかなる法理論によるかを問わず、逸失利益又は収入の喪失又は営業の停止を含むがこれに限定されない、間接的、派生的、付随的、特別的、懲罰的、その他の損害について、一切の責任を負わないものとする。請求の形態に関わらず、ライセンス対象物に係る、顧客又はそのライセンサーの、損害に対する責任は、10 ドルを超えるものではない。間接的又は派生的損害に対する免責を認めていない国等においては、上記の免責事項がエンドユーザーに適用されない場合もある。
- (10) 本アプリケーションは、エンドユーザーが、インターネットその他の方法を通じ、所有権を伴うデータベース（以下、「本データベース」という。）から、データ（以下、「本データ」という。）にアクセスし、本アプリケーション・ソフトウェアの意図され認められたエンドユーザー機能を用いて、その他の機能を実行することを可能にするものである。
- (11) エンドユーザー・ライセンスが終了した場合、エンドユーザーは、本データの一切の複製を、エンドユーザーのコンピュータシステム及びエンドユーザーが所有し、アクセス又は管理するその他の記憶装置又は媒体から、直ちに消去、削除及びアンインストールすることに同意する。
- (12) 顧客及び／又はそのライセンサーは、顧客及び／又はそのライセンサーが十分とみなす理由がある場合には、本データベースからデータを削除し、又は、データのカテゴリを変更する権利を有する。ライセンス対象物がエラーを生じないものであること、又は、ライセンス対象物が中断されずに機能することについては、一切保証されないものとする。顧客及び／又はそのライセンサーは、エンドユーザーに対し、顧客及び／又はそのライセンサーが、将来提供しようとするかも知れない、データの新しい、改良又は追加されたタイプ又はカテゴリを提供する義務はなく、エンドユーザーに対する一切の義務を負うことなく、いつでもオンライン・サービスを中止することができる。
- (13) エンドユーザーが、情報又は著作権を伴う創作物を本データベースに追加されるべく提供した場合には、エンドユーザーは、エンドユーザーが当該創作物の唯一の著作権者であることを表明し保証するとともに、本データベースの一部として、当該創作物の著作権を登録する権利を含め、当該創作物に係る一切の知的所有権及び財産権を、顧客及び／又はそのライセンサーに譲渡するものとする。エンドユーザーが提供したすべてのデータは、ロヴィのプライバシー・ポリシーに従って、ロヴィが使用する。

主な仕様

● ナビゲーション部

アンテナ方式	マイクロストリップ平面アンテナ
受信方式	GPS(+MSAS) & QZSS
受信周波数	1575.42MHz (C/A コード)
追従衛星数	最大 16
VICS	FM 多重 (内蔵) / VICS-WIDE 対応 / ETC2.0(DSRC) 対応

● モニター部

画面サイズ (幅×高さ×対角)	7.0V型ワイド (156.6 × 81.6 × 176.6 mm)
表示方式	透過TN型
駆動方式	TFTアクティブマトリクス
画素数	1,152,000個800H×RGB×480V
画素配列	RGBストライプ配列
タッチパネル	抵抗膜式タッチパネル
使用光源(照明方式)	LEDバックライト方式

● オーディオ部

最大出力	50W × 4
スピーカーインピーダンス	4 ~ 8 Ω
リアビューカメラ専用映像入力	端子 : RCA × 1 映像入力レベル : 1Vp-p/75 Ω
ドライブレコーダー映像入力	端子 : RCA × 1 映像入力レベル : 1Vp-p/75 Ω
ビデオ出力*1	端子 : RCA × 1 映像入力レベル : 1Vp-p/75 Ω

● 地上デジタルチューナー部*1

受信方式	地上デジタルテレビ放送方式 (日本) (ワンセグ対応)
受信チャンネル	UHF13 ~ 52ch

● ワンセグ部*2

受信方式	地上デジタルテレビ放送 1 セグメント部分受信サービス (ワンセグ)
受信チャンネル	UHF13 ~ 52ch

● チューナー部

FM受信周波数範囲 (周波数ステップ)	76.0MHz~99.0MHz (0.1MHz)
AM受信周波数範囲 (周波数ステップ)	522kHz~1629kHz (9kHz)

● USB I/F 部

対応 USB	USB1.1/2.0 (High Speed)
ファイルシステム	FAT16/FAT32/NTFS/exFAT
最大供給電流	DC5V ≒ 1A

● SD カード部

対応 SD	SD/SDHC/SDXC
ファイルシステム	FAT16/FAT32/exFAT

● DVD/CD 部

信号方式	NTSC
対応ディスク	DVD-Video, DVD ± R / ± RW / ± R DL, CD-DA, CD-R/-RW, SACD (CD LAYER ONLY)
リージョン番号	2
サンプリング周波数	44.1kHz/ 48kHz/96kHz
量子化ビット数	16/20/24bit (直線)

● 対応メディア

DVD-Video	DVD-R,DVD-RWはVRモードも対応
CD-DA	8cmCD 非対応
CD/DVD 音声	MP3, WMA, AAC, WAV, FLAC, Vorbis
USB/ SD 音声	MP3, WMA, AAC, WAV, FLAC, Vorbis
映像	MPEG-4 Video, H.264/MPEG-4 AVC, WMV

● 電源 / 寸法 / 重量

電源電圧	14.4V (10.5V ~ 16V)
最大消費電流	15A
使用温度範囲	-10 ~ + 60°C
本体	外形寸法 (幅×高さ×奥行) : MDV-D504BTW/MDV-D404BTW 206mm×104mm×174mm MDV-D504BT/MDV-D404BT 180mm×100mm×182mm 埋込寸法 (幅×高さ×奥行) : 178mm×100mm×159mm 質量 (重さ) : MDV-D504BTW:2,340 g MDV-D504BT : 2,330 g MDV-D404BTW : 2,320 g MDV-D404BT : 2,300g
GPS アンテナ	外形寸法 : 36mm × 12.8mm × 33mm ケーブル長 : 3.5m 質量 (重さ) : 85g
● TV アンテナ	
アンテナ形状	フィルム型
ケーブル長 (アンテナケーブル)	4.0m
アンテナ部 (エレメント外形寸法)	117.5mm × 86mm
重量 (重さ) (ケーブル含む)	約 40g

● Bluetooth 部

対応プロファイル	HFP, PBAP, A2DP, AVRCP, SPP
対応コーデック	SBC/AAC
SCMS-T	対応

*1 : MDV-D504BTW/MDV-D504BT

*2 : MDV-D404BTW/MDV-D404BT

これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

保証とアフターサービス

保証について

- 保証書 この製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間 お買い上げの日より1年です。

修理に関するご相談は

修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたは JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

- ホームページ
<http://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>
- JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター
0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)
0570-010-114 (携帯電話、PHS からはナビダイヤル)
045-450-8950 (一部 IP 電話など)
受付時間などは裏表紙を参照してください。

修理を依頼されるときは

「故障かなと思ったら」(→ P.57)を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリ内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は…

お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

● 持込修理 この製品は持込修理とさせていただきます。

製品を修理のために、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにお持ちになるときは、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。

● 車両からの取り外し / 取り付けについて

修理をご依頼される場合は、製品を車両から取り外した状態でお買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにお持ちください。なお、保証期間の内外に関わらず、修理、点検のために製品を車両から取り外しまたは取り付けした場合の作業費用の負担、および作業のご依頼は承っておりません。

● 修理料金のしくみ (有料修理の場合は、つぎの料金が必要になります。)

技術料： 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。

部品代： 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。



株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

- 商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)
0570-010-114 (携帯電話、PHSからはナビダイヤル)
045-450-8950 (一部IP電話など) / FAX 045-450-2308
住所 〒221-8528 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12
受付時間 月曜～金曜: 9:30～18:00
土曜: 9:30～12:00、13:00～17:30
(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- 修理などアフターサービスについては、当社ホームページ (<http://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>) またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。